

## 第5章 社会教育・家庭教育

### 第1節 学校と家庭・地域との協働の推進

#### 第1 学校・家庭・地域が連携するための仕組みづくり

目標達成型の学校経営の取組と教育振興運動が軌を一にして展開することにより、学校、家庭、地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てていく環境づくりを推進した。

##### 1 「いわて教育の日」推進事業

###### (1) 趣旨

県民の教育に対する関心と理解を深め、学校、家庭及び地域社会が連携して、次代を担う豊かな人間性を備えた子どもを育成するため、県民一人一人が教育の重要性を認識し、本県における教育のあり方を考える契機として、いわて教育の日を設け、本県における教育の充実と発展に資することを目的に、平成17年3月に県議会で「いわて教育の日に関する条例」が制定され、平成17年4月から施行された。

この条例の目的の実現を図るため、教育に関する活動の奨励、広報その他の取組を行う。

- ・ いわて教育の日 11月1日
- ・ 教育週間 11月1日～7日

###### (2) 「いわて教育の日」県教育委員会主催事業

令和5年度「いわて教育の日」のつどい

テーマ 『学びと絆で 夢と未来を拓き 社会を創造する人づくり』

期日 令和5年11月9日(木)

会場 トーサイクラシックホール岩手〈岩手県民会館〉 中ホール

参加者 県内教育関係者、県民、生徒等 約360人

内容 第1部 開会行事

- ・ 開会行事
- ・ 教育表彰(事績顕著者表彰)

第2部 生徒による発表

- ・ 軽音楽 県立盛岡南高等学校 軽音楽部
- ・ 合唱 一関市立磐井中学校 合唱部

第3部 講演

- ・ 講師 独立行政法人教職員支援機構理事長 中央教育審議会会長 荒瀬 克己 氏
- ・ 演題 未来に向けた教育の在り方について

司会 私立盛岡白百合学園高等学校 2年 ブラネン 愛那 さん

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、入場者数を制限して開催した。

###### (3) 「いわて教育の日」関連事業

「いわて教育の日」前後の10月と11月の2か月間に実施される、県・市町村・学校・民間団体などによる教育・文化・スポーツ・青少年健全育成等の教育関連事業(行事)を、「いわて教育の日」関連事業として広く参加を求めることにより、教育振興の機運の醸成を図った。

##### 2 教育振興運動

「岩手県『地域学校協働活動・教育振興運動』推進5か年プラン」(令和2年度～令和6年度)は、「地域学校協働活動」と「教育振興運動」を総合的かつ一体的に推進することにより、「学校を核とした地域づくり」や「地域とともにある学校づくり」の実現を図ろうとする令和2年度から5年間の推進計画であり、4年目となる令和5年度は、「目指す子どもの姿」の実現に向け、地域全体に取組を広げるなど、実践の充実、事例等の共有が各地域で進められた。

(1) 県段階における推進活動

ア 幹事会

- ① 期日 令和6年2月5日
- ② 会場 県庁10階教育委員会委員室
- ③ 内容
  - ・令和5年度教育振興運動推進事業の実施状況について
  - ・令和5年度教育振興運動推進状況調査について
  - ・令和6年度以降の教育振興運動の推進について

イ 市町村担当者研修会

- ① 目的 教育振興運動と地域学校協働活動の取組を総合的かつ一体的に進めるための方策等について理解を深める。
- ② 期日・参加者 令和5年6月7日・86人
- ③ 方法 参集とオンラインによるハイブリット開催（配信場所：生涯学習推進センター）
- ④ 内容
  - ・行政説明①「教育振興運動の歴史と地域学校協働活動・学校運営協議会制度」について
  - ・行政説明②「令和5年度教育振興運動・地域学校協働活動推進方針と重点的取組」について

ウ 地域とともにある学校づくり推進フォーラム

- ① 目的 「地域とともにある学校づくり」に資するコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）や地域学校協働活動の効果的な取組事例の発表等を通じて、各地区における円滑かつ効果的なコミュニティ・スクールの導入や導入後の運営の在り方について理解を深めるために、本研修会を開催する。

② 概要

教育事務所	期 日	会 場	参加者	内 容
盛岡地区	6月9日	姫神ホール	173人	趣旨説明、事例発表・演習、講話・演習
中部地区	7月11日	生涯学習推進センター	112人	趣旨説明、講演・演習、情報交換
県南地区	7月5日	前沢ふれあいセンター	131人	パネルディスカッション、講演
沿岸南部地区	7月4日	三陸公民館	91人	趣旨説明、事例発表、情報交流、講評
宮古地区	7月5日	宮古市民文化会館	95人	趣旨説明、実践発表、パネルディスカッション
県北地区	6月28日	二戸地区合同庁舎・二戸市シビックセンター	115人	趣旨説明、講話、演習（熟議）

エ 「学校を核とした地域づくり」の推進に係る訪問支援

- ① 内容 地域学校協働活動の充実及び推進体制の整備等を目的とした教育事務所による訪問支援
- ② 方法 管内市町村の求めに応じて訪問

オ 公立小中学校及び県立学校の校内体制における「地域連携窓口教員（地域教育担当教員）」の位置づけ周知

- ① 教育基本法及び学校教育指導指針の趣旨を踏まえ、「学校、家庭及び地域住民の連携協力」を推進する「地域連携窓口教員」の位置づけを周知
- ② 「地域連携窓口教員」の設置状況調査の実施（令和5年8月調査）
  - ※ 公立小学校・公立中学校・県立高校・県立特別支援学校 全て100%

(2) 市町村段階における推進活動

ア 推進組織の状況

(合計47市町村・地区)

教育振興運動単独組織で推進	26市町村・地区
教育振興運動とは別の組織で推進	15市町村・地区
教育振興運動の組織と別の組織の両方で推進	6市町村・地区
推進組織はない	なし

## イ 実践組織の状況

### (ア) 実践組織の数

区 分	数(割合)
小学校区	176(32.9%)
中学校区	94(17.6%)
公民館区	60(11.2%)
町内会区	110(20.6%)
その他	95(17.8%)
計	535

### (イ) 実践組織が取り組む主題の数(延べ数)

区 分	主題の数	区 分	主題の数
学習活動	718	勤労体験	180
社会参加	700	国際理解	56
自然体験	217	スポーツ・レクリエーション	191
郷土芸能	220	情報メディア	359
文化・芸術	189	復興教育	147
生活・健康	630	その他	104
世代間交流	349	計	4,060

## 3 地域学校協働活動(学校支援地域本部)事業

学校と地域の連携・協働体制を構築し、学校教育の充実とともに地域の教育力向上を図るため、国庫補助事業「学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金」の活用により地域学校協働活動(学校支援地域本部)事業を実施した。

### (1) 岩手県学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進会議

ア 会議の開催(令和5年8月23日、令和6年1月23日)

イ 地域学校協働活動推進員研修会(令和5年10月31日 24人)

ウ 地域学校協働活動推進員地区別研修講座【盛岡】(令和5年10月4日 14人)

【中部】(令和5年6月14日 33人)

【県南】(令和5年7月20日 12人)

【沿南】(令和5年10月4日 20人)

【宮古】(令和5年9月25日 15人)

【県北】(令和5年10月4日 31人)

エ 学校と地域の連携・協働研修会(令和5年8月10日 96人)

オ 現地視察(吉里吉里学園地域学校協働活動)

### (2) 市町村ごとの事業実施状況(家庭教育支援講座)

市町村名	講座数	市町村名	講座数	市町村名	講座数
盛岡市	—	西和賀町	1	山田町	99
八幡平市	—	奥州市	—	岩泉町	—
雫石町	—	金ヶ崎町	10	田野畑村	—
葛巻町	—	一関市	—	久慈市	22
岩手町	—	平泉町	9	普代村	2
滝沢市	—	大船渡市	9	洋野町	10
紫波町	5	陸前高田市	—	野田村	—
矢巾町	—	住田町	—	二戸市	32
花巻市	—	釜石市	—	軽米町	24
遠野市	15	大槌町	—	九戸村	—
北上市	—	宮古市	—	一戸町	—
				計	238講座

## 第2 豊かな体験活動の充実

放課後子供教室の推進、青少年団体の支援等を通じ、多様な体験活動の充実を図った。また、社会教育施設における体験活動の内容の充実を図り、成果の普及に取り組んだ。

### 1 放課後子供教室

地域に根ざした多様な活動の機会を提供するため、放課後子供教室事業を実施し、子どもたちの放課後等における安全・安心な居場所づくりを進めた。（国庫補助事業「学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金」を活用して実施）

#### (1) 岩手県学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進会議

ア 会議の開催（令和5年8月23日、令和6年1月23日）

イ 指導者合同研修会の開催（令和5年6月22日 142人、9月1日 199人、令和6年2月10日 50名）

ウ 現地視察（吉里っ子スクール（吉里吉里学園小学部放課後子供教室））

#### (2) 市町村ごとの事業実施状況

市町村名	子供教室数	市町村名	子供教室数	市町村名	子供教室数
盛岡市	(4)国から補助	西和賀町	—	山田町	—
八幡平市	—	奥州市	12	岩泉町	—
雫石町	—	金ケ崎町	1	田野畑村	—
葛巻町	4	一関市	16	久慈市	13
岩手町	—	平泉町	3	普代村	1
滝沢市	2	大船渡市	—	洋野町	8
紫波町	—	陸前高田市	6	野田村	1
矢巾町	4	住田町	2	二戸市	6
花巻市	—	釜石市	5	軽米町	3
遠野市	—	大槌町	2	九戸村	4
北上市	3	宮古市	1	一戸町	5
※ ( )は県から市町村への間接補助以外の教室数				計※	102(4)教室

## 2 少年団活動の支援

### (1) 子ども会等少年団体の組織状況

団体名	団体数	会員人数	
日本ボーイスカウト岩手連盟	7	290	(令和5年5月1日現在)
ガールスカウト岩手県連盟	8	145	(令和5年5月1日現在)
岩手県子ども会育成連合会	12	47,146	(令和5年5月1日現在)

### (2) 少年団体の活動状況

団体名	主な事業
日本ボーイスカウト岩手連盟	指導者養成事業／プログラム事業
ガールスカウト岩手県連盟	指導者養成及び指導者研修／教育プログラム
岩手県子ども会育成連合会	ジュニアリーダー育成／各地域子ども会育成組織支援

### 3 青年団体活動の支援

#### (1) 組織状況 (令和5年5月1日現在) [単位：団体、人]

団体名	構成団体数	会員数
岩手県青年団体協議会	2	30

#### (2) 事業内容

##### ア 第71回岩手県青年大会

###### (ア) 体育部門

期日……令和5年8月5日(土)～6日(日)

場所……葛巻町ほか

###### (イ) 文化部門

期日……令和5年8月27日(日)

場所……岩手県青少年会館

##### イ 第71回全国青年大会

期日……令和5年11月10日(金)～13日(月)

場所……東京都内

### 4 青年教室・講座 (令和4年度実績(「令和5年度社会教育基本調査」))

項目	開設数	参加者数	内容
30人以上で20時間以上	0教室(0市町村)	0人	1 人間関係に関すること
30人以上で10～20時間	0教室(0市町村)	0人	2 市民性、社会性に関すること
上記以外	46教室(13市町村)	2,975人	3 職業、家庭に関すること
合計	46教室(13市町村)	2,975人	4 郷土理解に関すること 等

### 5 青少年教育施設の利用状況

#### (1) 県立青少年の家

##### ア 運営の基本方向

次代の担い手である青少年に、恵まれた自然環境の中で規律ある共同生活を体験させ、友情・協同・奉仕等の相互扶助の精神を養い、地域社会の発展に寄与し得る自主的で創造性豊かな青少年の育成を図る。

(生活方針) 「規律」「友情」「協同」「奉仕」

##### イ 利用者数

[単位：団体、人]

	利用団体数	実利用者数	延利用者数
県南青少年の家	631	21,709	26,660
陸中海岸青少年の家	407	13,636	17,650
県北青少年の家	488	22,716	25,308
計	1,526	58,061	69,618

##### ウ 県北青少年の家スケート場利用者数

[単位：人]

	研修利用者数	普通利用者数	計
幼児	217	347	564
小学生・中学生	3,657	10,669	15,862
高校生・大学生・一般	1,536		
計	5,410	11,016	16,426

エ 類型別実利用者数

[単位：人]

		県南青少年の家	陸中海岸青少年の家	県北青少年の家
指定管理者の自主事業		2,051	1,864	5,365
教育研修・指導者養成等		647	995	1,753
学校利用	大学・短大	25	145	180
	各種学校	339	84	0
	高等学校	1,346	1,161	350
	中学校	989	1,550	721
	小学校	5,073	2,858	6,716
地域団体 利用	サークル(勤労青年)	19	9	287
	サークル(一般)	765	1,086	152
	子ども会	2,533	907	2,157
	スポ少団体	4,070	2,767	4,301
	児童館・公民館	1,285	804	231
	幼稚園・保育園	522	1,333	710
企業体		605	111	246
その他		6,391	1,976	2,139
合 計		26,660	17,650	25,308

(2) 県立野外活動センター

ア 運営の基本方向

恵まれた自然環境の中で、各種の野外活動、スポーツや協働宿泊生活などを行い、県民の明るく、豊かな生きがいのある人生を創造する。

また、研修での体験を通じて、規律・協調・友愛・奉仕の精神を養い、主体的で豊かな青少年の健全育成を図る。

イ 利用者数

[単位：団体、人]

利用団体数	実利用者数	延利用者数
575	20,053	25,888

ウ 類型別実利用者数

[単位：人]

教育研修・指導者養成等		1,681
学校利用	大学・短大	351
	各種学校	1
	高等学校	1,953
	中学校	6,610
	小学校	4,364
地域団体 利用	サークル(勤労青年)	0
	サークル(一般)	30
	子ども会・親子	410
	スポ少・スポーツ団体	7,091
	児童館・公民館	1,274
	幼稚園・保育園	36
企業体		1,425
その他		662
合 計		25,888

## 第2節 子育て支援や家庭教育支援の充実

### 第1 子育てや家庭教育に関する学習機会の提供

子どもたちが基本的な生活習慣を身に付けることができるよう、幼児期からの家庭での取組を支援するとともに、子育て支援に関わるグループ・団体・NPO等や企業との連携・協力をしつつ、家庭教育支援を推進した。

#### 1 学習機会の提供

親等が集まる多様な機会を活用して、子育てや家庭教育に関する学習機会を提供した。

##### (1) 親子共同体験推進事業

- ア 趣旨……親子の共同体験を通して、親子の相互理解を深めるとともに、参加家族間の交流を通して、子育ての仲間づくりを促進する。
- イ 期日……令和5年5月～令和6年2月
- ウ 内容……各県立青少年の家・県立野外活動センターにおいて、野外炊事、自然体験活動等の親子共同体験事業を実施した。

##### (2) 効果的な学習機会の提供（国庫委託・補助事業として実施）

- ア 趣旨……保護者を対象に、関係機関団体等との連携のもと、広域的な教育課題に即した学習内容及び先進事例やワークショップ等を通じた学習方法を提供する。
- イ 期日……令和5年4月～令和6年3月
- ウ 内容……紫波町、遠野市、西和賀町、金ケ崎町、平泉町、大船渡市、山田町、久慈市、洋野町、普代村、二戸市、軽米町の12市町村において、家庭教育支援に関する講座等の学習機会を提供した。

### 2 学習情報の提供と相談体制の充実

子育てに不安や悩みを抱える親等に対する相談窓口の整備充実を図るとともに、家庭教育に関する親の学習活動を促進するため学習情報や学習資料を提供した。

#### (1) 家庭教育子育て電話・メール相談

##### ア 子育て電話相談「すこやかダイヤル」

- (ア) 趣旨……家庭教育、特に子育てに関する悩みや不安を抱く親に対して、電話（面接）による相談を行い、家庭教育の充実を図る。
- (イ) 開設場所…生涯学習推進センター
- (ウ) 開設期間…通年
- (エ) 開設日時…平日 10:00～17:00
- (オ) 電話番号…0198-27-2134
- (カ) 相談件数…961件

[単位：件、%]

相談領域	相談件数	割合	相談領域	相談件数	割合
健康・安全	27	2.8	虐待・育児不安	13	1.4
しつけ全般	37	3.9	心理・性格	322	33.5
遊び・友だち	33	3.4	集団生活・社会性	41	4.3
家庭環境	34	3.5	学習・進路	15	1.6
知能・ことば	2	0.2	人間関係	85	8.8
いじめ・不登校	58	6.0	発達障がい	16	1.7
			その他	278	28.9
			計	961	

## イ 子育てメール相談「すこやかメール相談」

- (ア) 趣旨……子育てについて学ぶ余裕がない親、子育てに関心が薄い親、孤立しがちな親等、全ての親に対してきめ細かな家庭教育支援を行うため、ITを活用した家庭教育相談を行う。
- (イ) 開設場所…生涯学習推進センター
- (ウ) 開設期間…通年
- (エ) 携帯サイトアドレス…kosodatem@pref.iwate.jp
- (オ) 相談件数…114件 [単位：件、%]

相談領域	相談件数	割合	相談領域	相談件数	割合
健康・安全	5	4.4	虐待・育児不安	13	11.4
しつけ全般	18	15.8	心理・性格	13	11.4
遊び・友だち	2	1.8	集団生活・社会性	3	2.6
家庭環境	14	12.3	学習・進路	7	6.1
知能・ことば	0	0	人間関係	11	9.6
いじめ・不登校	8	7.0	発達障がい	6	5.3
			その他	14	12.3
			計	114	

## ウ 子育てメールマガジン「すこやかメールマガジン」

- (ア) 趣旨……子育てについて学ぶ余裕がない親、子育てに関心が薄い親、孤立しがちな親等、全ての親に対してきめ細かな家庭教育支援を行うため、ITを活用した情報提供を行う。
- (イ) 開設場所…生涯学習推進センター
- (ウ) 開設期間…通年
- (エ) 配信日時…毎週木曜配信
- (オ) 配信先数…4,500（令和6年3月末現在）

## (2) 家庭教育手帳周知

乳幼児から小・中学校の子どもをめぐる家庭教育の課題や家庭教育に関する学習機会、相談窓口等に関する情報を提供した。（電子データによる提供周知）

## 第2 家庭教育を支える環境づくりの推進

地域において子育てに悩む親等の相談を受けたり、子育てグループを支援したりする子育てサポーターや地域人材の資質向上を図るとともに活用促進のための仕組みづくりを行った。

### 1 家庭教育支援体制整備

- (1) 岩手県学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進会議（国庫補助事業「学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金」を活用して実施）

- ア 国庫委託事業の基本的方針等について 令和5年8月23日（水）
- イ 国庫委託事業の成果・課題等について 令和6年1月23日（火）

### (2) 「家庭教育・子育て支援担当者研修会」

- ア 主管……生涯学習推進センター
- イ 期日……令和5年5月30日（火）
- ウ 内容……説明、基調講演、事例発表、質疑応答
- エ 対象……行政担当者、学校関係者、地域子育て支援拠点関係者等（30人）

(3) 「子育て・家庭教育相談担当者研修会」

- ア 主管……生涯学習推進センター
- イ 期日……①令和5年9月29日（金）、②令和5年11月28日（火）
- ウ 内容……講義、事例研究
- エ 対象……相談機関担当者、家庭教育支援担当者、子育て支援担当者、子育て支援関係者、幼稚園・保育園・認定こども園関係者、学校関係者等（①285人、②238人）

(4) 「地域安全防災研修会」

- ア 主管……生涯学習推進センター
- イ 期日……令和5年9月15日（金）
- ウ 内容……説明、講義、演習
- エ 対象……行政担当者、地域づくり団体関係者、教職員等（32人）

2 子育てサポーターのスキルアップと支援関係者のネットワーク強化

(1) 「家庭教育・子育て支援活動交流研修会」

- ア 主管……生涯学習推進センター
- イ 期日……令和5年7月6日（木）
- ウ 内容……基調講演、情報交流
- エ 対象……行政関係者、地域子育て支援拠点等関係者、子育てサポーター等（29人）

(2) 「地区家庭教育・子育て支援ネットワーク研修会」

- ア 主管……各教育事務所
- イ 期日……令和5年10月
  - ① 10月13日 盛岡教育事務所（42人）
  - ② 10月16日 宮古教育事務所（23人）
  - ③ 10月17日 県南教育事務所（84人）
  - ④ 10月20日 沿岸南部教育事務所（17人）
  - ⑤ 10月20日 県北教育事務所（52人）
  - ⑥ 10月23日 中部教育事務所（25人）
- ウ 内容……説明、講演、演習、実践発表等
- エ 対象……行政関係者、県子育てサポーター、子育て支援関係者、学校関係者等

## 第3節 生涯にわたり学び続ける環境づくり

### 第1 多様な学習機会の充実

健康志向の高まりや医療体制の充実等により、人生100年時代を迎える中、「いつでも・どこでも・だれでも」生涯にわたって学習を継続できる環境づくりが求められていることから、学びの機会等に関する情報の集積・提供や学習ニーズに個別に応じた学習相談、普及奨励、学習成果を生かす環境づくりに取り組んだ。

#### 1 生涯学習推進体制の充実

##### (1) 岩手県生涯学習審議会・岩手県社会教育委員会議の開催

生涯学習に関する基本的な施策を調査審議し、本県における生涯学習の総合的な振興を図るため、次の会議を開催した。

なお、平成19年度まで生涯学習審議会の開催を年1回とし、社会教育委員会議を年2回開催してきたが、両会議の関係は非常に密接であることから、平成20年度以降、全委員が兼任し両会議を同時開催することとした。

##### ア 期日

第1回 令和5年6月21日 第2回 令和6年1月19日

##### イ 出席

第1回 委員16人中13人出席 第2回 委員16人中12人出席

##### ウ 内容

- (ア) 令和5年度主要施策について（生涯学習文化財課、学校教育室、保健体育課、県立生涯学習推進センター、県立図書館、県立博物館、県立美術館、県立野外活動センター）
- (イ) 令和4・令和5年度協議テーマ「社会的包摂の観点に基づく生涯学習推進について」
- (ウ) 令和6年度社会教育関係団体活動費補助金の交付について

##### (2) 生涯学習推進体制調査

市町村における生涯学習推進体制等に関する状況を調査し、調査結果を県ホームページ及び県立生涯学習推進センターホームページにおいて公開した。

##### ア 実施時期 令和5年10月

##### イ 調査内容 生涯学習の推進組織、推進事業、情報提供事業、民間・NPOとの連携事業 等

#### 2 生涯学習の普及奨励

##### (1) 学習意識の啓発

県民の生涯学習に対する理解と意欲を高め、学習活動の充実を図るため、生涯学習推進センターにおいて、県内全市町村とのネットワークによる生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」等により、学習情報の集積・提供や広報活動に取り組んだ。

##### ア 生涯学習情報提供事業

##### (ア) 生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」

コンテンツの充実に努め、システムの利用促進を図る取組を実施した。

##### イ 生涯学習情報紙「岩手県立生涯学習推進センター情報」の発行

(ア) 発行部数……638部

(イ) 年間発行回数……4回

##### (2) 学習活動の支援

県民の学習活動の成果を地域社会に生かすことができるよう生涯学習ボランティア活動推進事業等を実施するとともに、岩手県生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」において情報提供に取り組んだ。

また、学習ニーズに個別に応じた学習相談や情報提供を行い、生涯学習・社会教育活動の支援を行った。

##### ア 生涯学習ボランティア活動推進事業

生涯学習推進センターボランティア登録数 943人（令和6年3月末現在）

## イ 電話相談「マナビィコール」の開設

- (ア) 開催日……………平日
- (イ) 時間……………9時～17時
- (ウ) 相談員……………生涯学習推進センター専門職員
- (エ) 相談件数……………115件

## 第2 岩手ならではの学習機会の提供

郷土に対する誇りや愛着を醸成するため、社会教育施設等において豊かな自然、文化、歴史などの資源をテーマとした公開講座を開催するなど、岩手ならではの学習機会の提供に取り組んだ。

### 1 成人の学習活動の支援

#### (1) 成人教育

市町村及び社会教育関係団体を主体として公開講座等が行われた。

【学級・講座】（令和5年度社会教育基本調査）

市町村数	学級数	受講者数
26	1,894	43,798

#### (2) 女性教育

女性の地位向上と充実した人生の創造のため、多様な学習機会を提供するとともに、女性の持つ豊かな感性を地域づくりに役立てるよう社会参加を促進した。

また、自主的な団体活動を促進するための指導者の養成に取り組んだ。

#### ア 女性学級・講座

女性のライフスタイルや家庭生活の変化に伴い、女性の学習志向が一層高まり、婦人問題、生活上の課題を中心に、市町村が主体となり計画的な学習が行われた。

【学級・講座】（令和5年度社会教育基本調査）

市町村数	学級数	学級生数
17	420	6,222

#### イ 女性団体活動の支援

本県の女性団体は、女性の地位と福祉の向上及び相互の連携を図ることを目的とし、岩手県女性団体連絡協議会を組織している。

県教育委員会は、岩手県地域婦人団体協議会が行う社会的、公共的に意義のある事業に対してその経費の一部を補助し、また、その団体の自主性を尊重しつつ求めに応じて助言指導を行うなど、その活動の支援を行った。

【組織状況（令和5年10月1日現在）】

団体名	単位団体数	会員数
特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会	31	3,600

### 2 高齢者の学習活動の支援

#### (1) 高齢者学級・講座

高齢者の多様なニーズに対応するため、各市町村において今日的課題に関する講座や世代間交流事業などが行われた。

【学級・講座】（令和5年度社会教育基本調査）

市町村数	学級数	学級生数
28	1,241	39,886

### 3 視聴覚教育

#### (1) 視聴覚教育の推進

教育関係者には、視聴覚教材、機材を適切に活用し学習効果を高めるとともに、放送など視聴覚メディアの活用と併せ、メディアの研究開発による教育の機会の拡充を図ることが求められていることから、指導者養成に当たっては、機器の操作や指導方法等について、

専門的研修を実施し、指導法の浸透を図った。

**ア 視聴覚ライブラリー専任職員研修会**

岩手県地域視聴覚教育協議会連絡協議会専任職員等研修会

- (ア) 実施時期 令和5年9月19日(火)
- (イ) 参加者数 7人
- (ウ) 内容 オンライン交流会・情報交流

**イ 16ミリ映写機操作技術講習会**

[単位：回、人]

教育事務所	回数	修了者数	教育事務所	回数	修了者数
盛岡	3	40	沿岸南部	0	0
中部	1	16	宮古	0	0
県南	2	9	県北	0	0
			計	6	65

**ウ 教材フィルム利用状況**

[単位：本、人]

視聴覚ライブラリー名	利用本数	観覧者数	視聴覚ライブラリー名	利用本数	観覧者数
中央	332	4,811	大槌町	0	0
花巻市	309	6,628	久慈市	50	410
北上市	33	394	宮古市	105	1,111
西和賀町	0	0	山田町	0	0
県南第一	377	6,551	岩泉町	0	0
釜石市	32	596	二戸	67	981
遠野市	41	489	県立図書館	0	0
			計	1,346	21,971

**4 県立図書館の整備充実**

**(1) 運営の方針**

**ア 図書館機能の充実**

- (ア) 県と指定管理者が役割と責任を明確にした上で、連携、協力し、図書館の運営者としての一体性を保持しながら、利用しやすい施設を目指した。  
また、図書館のサービス提供部門の運営を担う指定管理者は、図書館の運営方針等に基づき適切に業務を遂行するとともに、県は指定管理者の管理運営の状況について評価し、必要に応じて助言や協議を行い、図書館機能が充実するよう取り組んだ。
- (イ) 図書館の運営上の課題を協議するため、図書館協議会を2回開催した。
- (ウ) アンケート等により利用者の意見を収集し運営に反映させるよう取り組んだ。
- (エ) 多様な利用者や住民に配慮したサービスの提供に取り組んだ。
- (オ) 図書館機能の充実のため、図書館職員の資質の向上に取り組んだ。

**イ 広報活動の充実**

利用者の便宜を図り利用促進につなげるため、印刷物の発行やホームページ等を活用し広報等情報の発信に取り組んだ。

**ウ 図書館資料の収集、整理、保存及び活用**

- (ア) 県民のニーズを広域的かつ総合的に把握し、図書館資料としてふさわしい資料や情報を収集、整理し、保存するとともに活用を図り、県民の利用に供した。
- (イ) 県民の利用を促すために、所蔵資料に係る目録等の整備を進めた。
- (ウ) 郷土資料の収集、整理等を重点的に実施し、ホームページにより情報提供を図るとともに、資料の保存・利活用に当たってのデジタル化を進めた。  
また、郷土資料講座等を実施し、資料の紹介と活用に取り組んだ。
- (エ) 東日本大震災津波関係の記録を引き続き収集するとともに、本県の過去の災害関連資料や防災に関する資料を収集し、利活用できるよう整理を進めた。また、令和5年11月に、震災・防災の学び合いスペース「I-ルーム」を開設し、復興教育や今日的な課題について支援するとともに情報発信を行った。
- (オ) 古文書等の貴重資料について適切な整理を行うとともに、「デジタルライブラリーいわて」により公開し、岩手の文化の情報発信に努めた。

## エ 相談機能の維持充実

- (ア) 県民の調査研究活動を支援するとともに、生活上の課題や地域課題の解決に役立ててもらえるよう、図書館資料を活用して支援するレファレンスサービスを提供した。
- (イ) レファレンス事例や郷土資料等に関する各種データベースを充実させ、情報を提供した。

## オ 今日の課題への対応

少子化、超高齢社会、人口減少、産業振興等、本県における今日の課題の解決に資するよう取り組んだ。

## カ 学習機会の提供と読書活動の奨励

- (ア) 図書館資料を活用した企画展示等により、学習への興味関心を高めた。
- (イ) 関係団体との連携により、読書週間を設け各種関連事業を実施したほか、県内の読書ボランティア等への図書館資料の貸出しや読み聞かせ会の実施等により、県民の読書活動の推進に取り組んだ。
- (ウ) 読書活動、調べ学習及び就労体験実習等、学校教育の支援を行った。

## キ 市町村支援及び連携

- (ア) 市町村立図書館等のニーズを踏まえつつ、図書館運営に関する助言等を行うとともに、協力貸出や協力レファレンス等の支援を行った。
- (イ) 図書館を取り巻く様々なテーマについて、市町村立図書館等と共同で調査研究を実施した。
- (ウ) 県内図書館間の相互協力を推進した。
- (エ) 市町村立図書館等職員のための各種研修講座を実施するなど、職員の知識・技能等の習得を支援した。

## ク 関係団体等との連携

- (ア) 岩手県図書館協会、岩手県読書推進運動協議会を通じて読書活動の奨励等が全県的な活動となるよう、県内図書館や関係団体等との連携を進めた。
- (イ) 図書館以外の社会教育施設等との連携を強め、情報提供等の充実に取り組んだ。
- (ウ) いわて県民情報交流センター内施設等と連携しながら、利用者の満足度向上に取り組んだ。

## ケ 利用者の安全安心の確保

災害や事故等の発生時における対応マニュアルに基づき、日頃の訓練等を通じて迅速・適切に行動できるように備えた。

## (2) 事業等の実施状況

### ア 県立図書館協議会開催状況

第1回【期日】令和5年7月26日

#### 【協議事項】

- ・ 県立図書館業務実施状況及び利用状況について
- ・ 県立図書館運営概要について
- ・ 「岩手県公立図書館等振興指針」の改訂について

第2回【期日】令和6年3月8日

#### 【協議事項】

- ・ 県立図書館利用状況等について
- ・ 県立図書館運営概要について
- ・ 「岩手県公立図書館等振興指針」の改訂について

### イ 全国図書館大会岩手大会

【期日】令和5年11月16日(木)～令和5年11月17日(金)

- ・ 開会行事・全体会 盛岡市民文化ホール大ホール
- ・ 分科会・展示 企画展 いわて情報交流センター(アイーナ)  
盛岡地域交流センター(マリオス)

### ウ 広報活動

各種広報誌を発行するとともに、報道機関等への情報提供やホームページの充実に取り組んだ。

## エ 図書館資料の収集

岩手県立図書館資料収集方針に基づき図書館資料を収集した。郷土資料については、網羅的な収集に努めた。特に、東日本大震災津波に関する資料収集を各方面に呼び掛け、積極的に取り組んだ。なお、資料収集等の実績は次のとおり。

### (ア) 図書資料

[単位：冊]

区 分	購 入	寄 贈	除 籍	年度末総冊数
一般用	4,708	4,735	470	707,449
団体用	765	12	279	133,444
計	5,473	4,747	749	840,893

### (イ) 視聴覚資料

[単位：点]

区 分	購 入	寄 贈	除 籍	年度末総点数
16ミリ映画フィルム	0	0	1	1,539
ビデオテープ	0	0	52	2,692
DVD	16	44	1	3,086
CD	22	1	0	4,654
レコード	0	0	0	1,492
録音テープ	0	0	0	1,448
レリーフ・巧芸画	0	0	0	97
計	35	51	54	15,008

### (ウ) 新聞・雑誌

[単位：タイトル]

区 分	年度末総タイトル数
新 聞	391
雑 誌	5,812
計	6,203

### (エ) マイクロフィルム

[単位：点]

区 分	購 入	寄 贈	除 籍	年度末総点数
マイクロフィルム	22	0	0	10,047

### (オ) 電子資料

[単位：点]

区 分	年度末総点数
CD-ROM等	846
オンラインデータベース	8
計	854

### (カ) 震災関連資料

[単位：点]

区 分	年度末総点数
図書資料等	34,047
視聴覚資料	214
計	34,261

### (キ) デジタル化資料

[単位：点]

資料名	5年度デジタル化点数
岩手県管轄地誌ほか	4,267

## オ 利用者サービス

### (ア) 入館者数及び新規貸出登録者数

入館者数……………353,891人

新規貸出登録者数…3,587人

### (イ) 個人への館外貸出数

[単位：冊又は点]

区 分	冊数又は点数
図書資料	196,614
視聴覚資料	2,008
うちビデオテープ	19
DVD	1,060
CD	929

### (ウ) 図書館映画会及び読み聞かせ会

映画会は、企画展関連特別映画会9回、バリアフリー映画会1回の計10回開催した。また、児童向け読み聞かせ会を18回開催した。

(エ) 参考調査（レファレンスサービス）

調べものや読書相談等に延べ18,302件の利用があった。

(オ) 課題解決支援サービス

[単位：人]

講演タイトル	開催日	参加者数
「脱炭素社会」はなぜ必要か？ ～もりおかでゼロカーボンをどのように実現するか～	令和5年8月4日	19
フェーズフリー入門 ～いつもの暮らしから、非常時の支えに～	令和5年12月10日	26

(カ) 二次資料の作成

利用者のレファレンスサービス利用の便宜を図るため、二次資料を整備して提供した。

- ・ 国立国会図書館レファレンス協同データベース
- ・ レファレンス事例データベース
- ・ 岩手日報記事索引
- ・ 郷土関係雑誌目次集
- ・ 県人台帳

カ 展示事業

(ア) 4階展示コーナー企画展示

[単位：点]

実施内容	開催期間	展示点数
佐々木喜善・没後90年	令和5年5月20日～7月23日	171
幾歳経るとも要心あれ	令和5年8月5日～10月9日	163
第36回賢治資料展	令和5年10月21日～1月14日	268
第44回手づくり絵本展（ミニ企画展： 東西魔法対決！子どもの本にみる魔法）	令和6年2月3日～2月11日	213
世界に誇る！岩手の無形文化遺産	令和6年2月23日～5月6日	143

(イ) 各カウンターミニ展示

[単位：回]

場所	開催回数
総合、児童、新聞・雑誌、音と映像、企画、郷土、パスファインダー	141

キ 読書推進運動事業

家庭・地域・学校における読書活動の推進に資することを目的として、「岩手県読書をすすめるつどい」を開催する。

期日：令和6年2月3日（土）

会場：岩手情報交流センター 内容：表彰・講演・実技発表・活動発表 参加者：162人

ク 市町村への支援協力

(ア) 市町村立図書館等職員専門研修

- ・ 「ようこそ、うちの図書館へ」新作絵本の紹介や読み方、おはなし会等の持ち方、情報交流等 参加者：28人

(イ) 市町村立図書館等への訪問 26回

(ウ) 図書館等調査研究会の開催 委員17人

テーマ：「図書館と行政や各種団体との連携事例」

(エ) 協力貸出

図書資料：676件、1,278冊

視聴覚資料：19件、35点

(オ) 団体貸出

図書資料：25団体、25,709冊

視聴覚資料：5団体、7点

### 第3 学びと活動の循環による地域の活性化

県民一人ひとりが学んだ成果を地域課題の解決等に役立てるなど、学びと活動の循環を促したり地域の活性化に向けた仕組みづくりを進めたりするため、県立生涯学習推進センターを活用した研修・交流の場の提供や各種社会教育関係団体の活動の支援等に取り組んだ。

#### 1 県立生涯学習推進センターの運営

##### (1) 運営の方針

本県生涯学習推進の中核機関として、県民の学習活動を支援・促進するため、生涯学習に関する情報提供・学習相談、調査研究及び指導者養成等の事業を総合的・効果的に推進するとともに、市町村及び関係機関・団体との連携強化に努め、本県生涯学習の振興を図る。

##### (2) 運営の重点

###### ア 学習情報提供・学習相談

生涯学習情報システムなど、多様なメディアを活用した総合的な学習情報の提供及び学習相談の充実を図る。

(ア) 学習情報データベースの充実と生涯学習情報提供及び学習相談の充実

(イ) 家庭教育に関する情報提供及び相談の充実

(ウ) 生涯学習に関する広報活動の充実

###### イ 調査・研究

生涯学習に関する各種調査を実施するとともに、生涯学習推進上の諸課題に関する研究を推進し、本県生涯学習の振興に役立てる。

(ア) 生涯学習及び社会教育の推進状況等に関する調査の実施

(イ) 生涯学習推進上の諸課題に関する研究の推進

(ウ) 生涯学習推進研究発表会の開催

###### ウ 指導者の養成・研修

生涯学習・社会教育関係職員及び有志指導者を対象とした研修を充実し、関係職員の資質の向上と指導者の養成を図る。

(ア) 主に生涯学習・社会教育関係職員を対象とした研修（職員研修）

(イ) 主に有志指導者（ボランティア）を対象とした研修（有志指導者研修）

(ウ) 市町村等のニーズに応じた研修（要請研修）

(エ) 社会教育主事講習等の資格認定に関する研修（資格認定研修等）

##### (3) 事業等の実施状況

###### ア 学習情報の提供

(ア) 生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」の管理運用

インターネットを活用し、各種の生涯学習情報を県民に提供した。

【利用件数】令和5年度 109,660件

(イ) 生涯学習情報紙の発行

【名称】岩手県立生涯学習推進センター情報

【内容】国・県・市町村における生涯学習の推進状況、県立生涯学習推進センターの事業に関する情報等

【発行部数・回数】638部・年4回

【配布先】県、市町村教育委員会、小中高等学校、関係機関及び施設等

(ウ) 学習相談事業「マナビィコール」

【内容】生涯学習の推進に関する事業や学習活動についての電話相談

電話番号：0198-27-4563（平日の9時～17時）

【相談件数】令和5年度 115件

(エ) 子育て相談「すこやかダイヤル」

【内容】子育てに関する悩みや不安についての電話相談、面接相談

電話番号：0198-27-2134（平日の10時～17時）

【相談件数】令和5年度 961件

(オ) 子育て相談「すこやかメール相談・すこやかメールマガジン」

【内容】子育てに関する悩みや不安についての相談、  
子育てに関する情報をメール・SNSで提供

【相談件数】令和5年度 114件

【子育て情報提供】毎週木曜日を基本として配信

イ 調査・研究

(ア) 研究紀要「2023 研究報 Vol.26 いわての生涯学習」の発行

【部数】200部

【内容】地域づくりにおける公民館等の役割と課題に関する研究

(イ) 令和5年度岩手県生涯学習推進研究発表会

【期日】令和6年2月1日、2日

【会場】参集とオンラインのハイブリッド開催

【参加者数】168人（実人数）

【内容】(1) 研究発表・協議

① 「SDGsの実現に向けた社会教育の役割と課題」

② 「地域づくりにおける公民館等の役割と課題に関する研究」

(2) パネルディスカッション

「住民の地域防災力を高めるために、公民館等はどのように関わっていけばよいか」

(3) 講演 「地域防災における社会教育の役割とは」

ウ 指導者の養成・研修

【生涯学習推進センター利用状況】

利用区分	事業数・団体数(前年比)	利用人数(前年比)
主催事業	55 (△9)	3,176 (475)
施設利用	73 (14)	3,825 (943)
随時研修	6 (5)	23 (17)
講師派遣	30 (9)	1,583 (89)
視察	1 (1)	4 (4)
その他	0 (△2)	0 (△112)
計	165 (18)	8,611 (1416)

【各種研修事業実施状況】

[単位：人]

区分	研修・講座名	期 日	受講者数
職員研修	新任生涯学習関係職員研修講座	令和5年5月12日	88
	家庭教育・子育て支援担当者研修会	令和5年5月30日	29
	社会教育指導員・地域づくり関係職員等研修講座	令和5年5月26日	22
	ICTスキルアップ研修講座	令和5年5月16日、17日、18日、6月9日、14日、26日、10月11日、13日、16日、11月1日	159
	人づくり・地域づくり関係職員等研修会（県内5会場）	令和5年7月25日、9月28日、10月4日、11月10日、30日	96
	コミュニケーションスキルアップ研修講座	令和5年8月8日	44
	学校と地域の連携・協働研修会	令和5年8月10日	96
	事業プログラム企画運営研修講座	令和5年9月6日	31
	センター・公民館・主管課職員等セミナー	令和5年9月21日	8

区分	研修・講座名	期 日	受講者数
	子育て・家庭教育相談担当者研修会	令和5年9月29日、11月28日	523
	地域安全防災研修会	令和5年9月15日	32
有志 指導 者研 修	放課後子ども総合プラン指導者合同研修会 ※9月1日はオンライン	令和5年6月22日、9月1日	341
	読書ボランティア研修会	令和5年6月6日	137
	家庭教育・子育て支援活動交流研修会	令和5年7月6日	29
	地域学校協働活動推進員（コーディネーター）研修会	令和5年10月31日	24
	放課後児童支援員認定資格研修（4班編成、前後期各2日）	令和5年6月27日～10月25日	193
要請 研修	随時研修（6回）	通年	23
	出前研修（講師派遣）（30回）	通年	1,583
その 他	社会教育主事講習（B）	令和6年1月12日～2月16日	21
	岩手県生涯学習推進研究発表会（2日間）	令和6年2月1日、2日	168
合計			3,647

## 2 社会教育関係団体の活動支援

地域の活性化に向けた仕組みづくりを進めるため、社会教育関係団体の活動について、研修会における助言や経費の一部を補助するなどの支援を行った。

団 体 名	単位団体数	会員数	補助対象事業
岩手県子ども会育成連合会	12	47,146	・市町村子ども会活動活性化事業 ・ブロック別研修会 ・会報発行
日本ボーイスカウト岩手連盟	7	290	・カブ・ビーバーラリー ・組織拡充促進事業
ガールスカウト岩手県連盟	8	145	・教育プログラム ・成人のトレーニング
岩手県青年団体協議会	2	30	・全国青年大会派遣
特定非営利活動法人 岩手県地域婦人団体協議会	31	3,600	・広報活動
岩手県ユネスコ連絡協議会	23	1,471	・ユネスコ活動顕彰事業 ・ユネスコ運動広報事業
岩手県国公立幼稚園・こども 園PTA連絡協議会	24	707	・ブロック研修会 ・会報発行 ・活動計画資料作成
一般社団法人 岩手県PTA連合会	33	75,275	・会報発行
岩手県高等学校PTA連合会	80	22,389	・会報発行
岩手県社会教育連絡協議会	0 (※市町村団体無)	1,538	・会報発行 ・全国社会教育研究大会参加

(組織状況：令和5年5月1日現在)

## 第4 社会教育の中核を担う人材の育成

社会教育活動を総合的、効果的に推進するため、市町村教育委員会事務局に社会教育主事が8人、社会教育指導員が22人配置されている。

近年、社会を取り巻く環境の変化や新たな課題への対応のため、社会教育関係職員の専門性が一層強く求められており、関係職員への教育は重要となっている。

令和5年度は、次の研修等を行った。

**1 新任生涯学習関係職員研修講座**

【期日|会場|参加者数】 令和5年5月12日|生涯学習推進センター|88人

【内容】生涯学習・社会教育の推進に関する基本的な知識・技能を習得する研修

**2 社会教育指導員・地域づくり関係職員等研修講座**

【期日|会場|参加者数】 令和5年5月26日|生涯学習推進センター|22人

【内容】地域の人材と資源を生かした地域交流や学習プログラムの在り方、地域との関係づくりやアプローチの手法について学ぶ研修

**3 事業プログラム企画運営研修講座**

【期日|会場|参加者数】 令和5年9月6日|生涯学習推進センター|31人

【内容】事業を企画、構成するための基本的な考えを学び、幅広い世代の住民の参画による講座づくりの重要性について理解を深める研修

**4 コミュニケーションスキルアップ研修講座**

【期日|会場|参加者数】 令和5年8月8日|生涯学習推進センター|44人

【内容】生涯学習関係職員等に不可欠な実践的対人スキルの向上を図る研修

**5 センター・公民館・主管課職員等セミナー**

【期日|会場|参加者数】 令和5年9月21日|生涯学習推進センター|8人

【内容】デジタル化社会における社会教育施設の在り方について考える研修

**6 ICTスキルアップ研修講座**

期日	サブタイトル名	参加者数
令和5年5月16日、17日、18日	オンライン配信を活用した研修会の企画・運営	22人
令和5年6月9日 ※オンライン研修	オンライン配信のための著作権講座	47人
令和5年6月14日	チラシ・広報誌づくり初心者のためのテクニック向上講座	30人
令和5年6月26日	Excel活用講座 初級編	19人
令和5年10月11日、13日、16日	オンライン配信を活用した研修会の企画・運営	29人
令和5年11月1日	Excel活用講座 中級編	12人

【内容】オンライン配信等ICT活用による効果的な事業実施、オフィスソフトの使い方、魅力的なチラシ・広報紙の作成等に関する研修

**7 人づくり・地域づくり関係職員等研修講座**

期日	研修会サブテーマ	参加者数
令和5年7月25日	障がいのある方が学校卒業後も学び続けるための支援とは（入門編）	17人
令和5年9月28日	障がい者の生涯学習を支える	27人
令和5年10月4日	公民館等が継続的な地域づくりを実現するための連携・協働のあり方	33人
令和5年11月10日	レイアウトも自由自在！Wordデザインの技	8人
令和5年11月30日	地域で生涯を通じて共に学び、生きるということ	11人

【内容】地域づくりを担う地区センター・公民館職員等のスキルアップを図る研修

**8 岩手県公民館大会・岩手県社会教育委員研究大会**

【内容】生涯学習及び社会教育に関する基本的な事項、職務及び今日的な在り方に関する研修、公民館の在り方等に関する研修

【期日|会場|参加者数】令和5年7月14日|ビッググループ滝沢|260人  
※参集及びオンデマンドによるハイブリッド開催

## 9 図書館等職員研修

### (1) 新任図書館長等研修会

【期日|会場】令和5年4月28日～5月19日| (YouTube配信)  
【内容】講話  
【参加者数】17人

### (2) 図書館等初任職員研修会

【期日|会場】令和5年5月26日～6月23日| (YouTube配信)  
【内容】講義  
【参加者数】71人

### (3) 図書館等中堅職員研修会 (全国図書館大会開催のため未実施)

### (4) 図書館職員・図書館協議会委員合同研修会 (全国図書館大会開催のため未実施)

### (5) 市町村図書館等職員専門研修

期 日	会 場	参加者数
令和5年12月12日	県立図書館	28人

## 10 文部科学省・国立教育政策研究所研修講座

### (1) 全国生涯学習センター等研究交流会

全国の生涯学習センター等の代表者・職員等を対象に、生涯学習センター等の運営上の課題等について研究協議等を行う。

【期日|会場】令和5年5月26日|オンラインによる研修  
【内容】講義、事例研究、グループ協議等  
【参加者数】2人

### (2) 公民館職員専門講座

公民館職員として必要な高度かつ専門的な知識・技術についての研修を行い、地域の指導的立場にある公民館職員としての力量を高める。

【期日|会場】令和5年11月16日～21日|国立教育政策研究所社会教育実践研究センターでの集合とオンラインによる研修  
【内容】講義、シンポジウム、事例研究等  
【参加者数】2人

### (3) 社会教育主事講習

社会教育法第9条の5の規定及び社会教育主事講習等規程に基づき、文部科学省より委嘱を受け、社会教育主事となりうる資格を付与することを目的とした講習。

#### ア 秋田県生涯学習センター社会教育主事講習

【期日|会場】令和5年7月24日～8月18日|秋田県生涯学習センターでの集合研修と生涯学習推進センターでのオンラインによる研修

【内容】講義、演習、グループ研究等  
【参加者数】9人

#### イ 社会教育主事講習【A】

【期日|会場】令和5年7月11日～8月30日|国立教育政策研究所社会教育実践研究センターでの集合研修とオンラインによる研修

【内容】講義、演習等  
【参加者数】1人 (オンラインによる研修のみ受講)

ウ 社会教育主事講習【B】

【期日|会場】令和6年1月12日～2月16日|オンデマンドによる研修と生涯学習推進センターでの集合研修

【内容】講義（WEB配信）、演習等

【参加者数】21人（本県17人）

(4) 美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修

全国の小・中・高等学校等の教員と美術館の学芸員などが一堂に会し、グループ討議等を行うことにより、美術館を活用した鑑賞教育の充実及び学校と美術館の一層の連携を図る。

【期日|会場】令和5年8月7日・8日|国立西洋美術館・国立新美術館

【内容】講演、事例紹介、グループワーク等

【参加者数】3人

(5) 新任図書館長研修

図書館に関する基本的な知識を教授し、館長の資質の向上を図る。

【期日|会場】令和5年9月20日～9月22日|オンラインによる研修

【内容】講義等

【参加者数】2人

(6) 図書館司書専門講座

司書として必要な高度かつ専門的な知識・技術に関する研修を行い、都道府県の指導的立場になりうる司書及び図書館経営の中核を担うリーダーとしての力量を高める。

【期日|会場】令和5年6月15日～28日|国立教育政策研究所社会教育実践研究センターでの集合研修とオンラインによる研修

【内容】講義、事例研究、演習等

【参加者数】1人

(7) 社会教育主事専門講座

社会教育主事として必要な高度かつ専門的な知識・技術に関する研修を行い、都道府県の指導的立場にある社会教育主事としての力量を高める。

【期日|会場】令和5年10月12日～17日|国立教育政策研究所社会教育実践研究センターでの集合研修とオンラインによる研修

【内容】講義、実践交流、シンポジウム等

【参加者数】2人

(8) 地域教育力を高めるボランティアセミナー

地域と学校の連携・協働の推進に係る調査研究の成果等について研究協議等を行う。

【期日|会場】令和5年10月31日|オンラインによる研修

【内容】調査報告、事例発表、事例研究、グループ協議等

※受講希望者は直接申込のため、参加人数は不明

## 第5 多様な学びのニーズに応じた拠点の充実

文化活動の拠点施設として、県立博物館、県立美術館及び県立埋蔵文化財センターの管理運営の充実と施設設備の機能の向上を図った。

また、青少年教育施設については、県立青少年の家の管理運営の充実と施設整備の機能の向上を図ったほか、県立野外活動センターにおいては、東日本大震災津波伝承館等近隣施設と連携した復興・防災教育に関する研修プログラム等の提供も行うなど、事業の充実に取り組んだ。

## 1 県立博物館

### (1) 令和5年度博物館協議会開催状況

ア 令和6年2月20日

イ 会場 岩手県立博物館会議室

ウ 協議事項

- ・ 令和4年度博物館協議会の意見等への対応状況について
- ・ 令和5年度博物館事業実施状況について
- ・ 令和6年度博物館事業計画(案)について
- ・ 運営全般について

### (2) 令和5年度利用状況

総利用者数：86,098人

入館者数…………… 75,196人

教育普及事業参加者数……10,902人（解説会・普及事業）

#### 【令和5年度入館者数】

[単位：人、日]

月	区分	個人利用				団体利用				免除利用			
		一般	高大学生	小中学生	計	一般	高大学生	小中学生	計	一般	高大学生	小中学生	計
4		1,126	49	578	1,753	0	0	0	0	355	0	51	406
5		1,693	97	796	2,586	141	0	23	164	516	4	319	839
6		1,030	48	445	1,523	174	13	1	188	441	12	799	1,252
7		1,777	58	955	2,790	98	0	50	148	388	70	192	650
8		2,759	174	1,685	4,618	45	0	63	108	431	78	123	632
9		686	47	306	1,039	26	0	0	26	264	13	497	762
10		1,408	48	644	2,110	33	0	0	33	769	15	528	1,312
11		1,205	45	466	1,727	91	0	0	91	1,239	2	283	1,524
12		3,058	38	2,153	5,249	0	0	0	0	496	0	379	875
1		7,896	19	5,965	13,880	0	0	0	0	627	0	633	1,260
2		11,463	43	8,163	19,669	20	0	0	20	943	121	803	1,867
3		3,204	64	2,159	5,427	0	0	0	0	427	1	261	689
計		37,305	730	24,315	62,350	628	13	137	778	6,896	304	4,868	12,068

月	区分	総利用人員				開館日数	1日平均 利用人数
		一般	高大学生	小中学生	計		
4		1,481	49	629	2,159	26	83.0
5		2,350	101	1,138	3,589	27	132.9
6		1,645	73	1,245	2,963	26	114.0
7		2,263	128	1,197	3,588	27	132.9
8		3,235	252	1,871	5,358	29	184.8
9		976	48	803	1,827	17	107.5
10		2,210	63	1,172	3,455	26	132.5
11		2,535	47	749	3,342	26	128.1
12		3,554	38	2,532	6,136	24	255.2
1		8,523	19	6,598	15,140	26	582.3
2		12,426	164	8,966	21,556	25	862.2
3		3,631	65	2,420	6,116	27	226.5
計		44829	1047	29,320	75,196	306	245.7

### (3) 博物館活動

#### ア 資料の収集保管活動

##### (ア) 資料の収集整理

令和5年度は、13,770点の資料についての受け入れ、登録事務を行った。

[単位:点]

【収集資料数】	地質	生物	考古	歴史	民俗	計
令和4年度末累計	11,157	220,590	60,002	47,796	23,105	362,650
令和5年度登録点数	363	5,785	44	6,371	1,207	13,770
計	11,520	226,375	60,046	54,167	24,312	376,420

##### (イ) 資料の貸出状況

他の博物館、美術館などに展示や研究等の目的で貸出した資料は、次のとおりである。

- ・ 地 質 気仙隕石ほか 43点
- ・ 生 物 故菊地政雄教授植物採集用品ほか 64点
- ・ 考 古 蕨手刀ほか 8点
- ・ 民 俗 掛幅「白澤避怪図」ほか 23点
- ・ 歴 史 小野寺家文書ほか 747点、一式
- ・ そ の 他 移動展ケースほか 7点、15種

##### (ウ) 文化財科学

資料の保存と活用のため、適切な環境の維持、調整に努めた。

また、資料の保存管理のために必要なくん蒸消毒と科学的保存処理を行った。

#### イ 調査研究活動

博物館における調査研究活動は、共通テーマのほか地質、生物、考古、歴史、民俗及び文化財科学の分野ごとに行う研究テーマと全分野で取り組む総合調査がある。

令和5年度は39テーマについて年次計画に従い研究を進めた。

分 野	調査研究テーマ
地 質	「北上山地における地質学的資料に関する基礎的研究」ほか計3テーマ
生 物	「岩手県内の湿性草原環境の生物相の把握」ほか計11テーマ
自然史	「自然史標本の管理・公開、成果の発信に関する研究」1テーマ
考 古	「岩手県における埋蔵文化財保護、研究のあゆみ」ほか計4テーマ
歴 史	「古代・中世の東北史の研究」ほか計7テーマ
民 俗	「岩手の民具一般に関する基礎研究」ほか計4テーマ
文化財科学	「津波被災資料の安定化処理法及び抜本修復法に関する研究」ほか計3テーマ

#### ウ 展示活動

##### (ア) 常設展示の充実

「総合展示室」「いわて文化史展示室」「いわて自然史展示室」「ミニプラザ」等の展示替え

##### (イ) 特別展示等の開催

種 別	名 称	会 期
テーマ展	「新収蔵・新指定展Ⅱ 自然史編」	令和5年3月25日 ～令和5年5月7日
テーマ展	「北上川上流五大ダム探検大作戦」	令和5年6月10日 ～令和5年8月20日
テーマ展	「早池峰山の花と森」	令和5年9月23日 ～令和5年12月3日
特別展	「ポケモン化石博物館」	令和5年12月19日 ～令和6年3月3日

種 別	名 称	会 期
テーマ展	「ラグビーといわて」	令和6年3月23日 ～令和6年5月19日

(ウ) 解説会 計 106回催し、1,686人の参加があった。

【展示解説会（定時：7回開催、132人参加）】

期 日	担 当	テ ー マ
4月 23日	地質・生物	「新収蔵・新指定展Ⅱ自然史編～2018年度からの新コレクション～」
6月 24日	民俗・考古	「北上川上流五大ダム探検大作戦」
7月 29日	民俗	
9月 24日	生物	「早池峰山の花と森」
10月 7日		
10月 22日		
3月 23日	歴史	「ラグビーといわて」

【展示解説会 「北上川上流五大ダム探検大作戦」団体向け解説 8回開催、258人参加】

期 日	団 体 名	参 加 者 数
6月 17日	盛岡市立松園中学校	17人
7月 20日	盛岡中央公民館 不來方大学院	46人
7月 25日	岩手県立花巻北高等学校	80人
7月 27日	盛岡中央公民館 不來方大学院	43人
7月 27日	盛岡市緑が丘老人福祉センター	7人
7月 28日	ゆうゆう大学	19人
7月 31日	八幡平市平館コミュニティセンター	16人
8月 9日	田瀬地区コミュニティセンター	30人

【常設展示・展示解説会（91回開催、1,296人参加）】

区 分	回 数	参 加 者 数	場 所	担 当	内 容
通覧解説 (依頼解説)	91回 (随時)	1,296人	総合展示室 ほか	学芸第三課 (解説員)	総合展示室の展示 資料についての展 示解説会

(エ) 展示関連特別事業

展覧会名	事業名	参加者数
テーマ展「北上川上流五大ダム探検大作戦」	6月10日～8月20日 ワードパズル	428人
	6月10日～8月20日 マニアック問題	50人
	8月6日 博物館で楽しむ♪ダム探検（スタンプラリー）	49人

エ 教育普及活動

【講演会、観察会等の開催事業一覧】

No.	開催事業名	開催回数	参加者数
1	テーマ展「北上川上流五大ダム探検大作戦」 ワードパズル	1回	428人
2	テーマ展「北上川上流五大ダム探検大作戦」 マニアック問題	1回	50人
3	テーマ展「北上川上流五大ダム探検大作戦」 スタンプラリー	1回	49人
4	チャレンジ!はくぶつかん	42回	2,167人

No.	開催事業名	開催回数	参加者数
5	ワードクイズ	40回	816人
6	ゴールデンウィークスペシャルイベント	6回	153人
7	ナイトミュージアム	2回	46人
8	民俗講座	2回	76人
9	禁断のフォトスポット撮影会	28回	705人
10	夏・冬・春休みスペシャル	31回	133人
11	文化講演会	1回	153人
12	考古学セミナー（講演会）	2回	45人
13	岩手県立博物館友の会話のサロン	1回	20人
14	県博日曜講座	16回	815人
15	県博バックヤードツアー	2日	23人
16	自然観察会	2回	39人
17	地質観察会	2回	55人
18	イワテミュージアムコンサート	1回	29人
19	ミュージアムシアター	8回	161人
20	たいけん教室～みんなでためそう～	38回	676人
21	冬のワクワク！ワークショップ		開催せず
22	博物館で学ぶ岩手の歴史講座	7回	110人
23	博物館館園実習	1回	11人
24	文化財等取扱講習会（4日間）	4回	24人
25	教員のための博物館の日（2日間）	4回	24人
26	博物館まつり	2回	1,228人
27	県博出前講座	10回	203人
28	講演会・講座に係る職員派遣	42回	977人
	計		9,216人

**No.1 テーマ展「北上川上流五大ダム探検大作戦」ワードパズル**

【期日】6月10日～8月20日

【内容】小学生を対象としたダムに関するワードパズルの配布

**No.2 テーマ展「北上川上流五大ダム探検大作戦」マニアック問題**

【期日】7月23日～8月13日

【内容】一般を対象としたダムに関するマニアッククイズの配布。8割以上正解者にダムカード5種セットをプレゼント

**No.3 テーマ展「北上川上流五大ダム探検大作戦」博物館で楽しむ♪ダム探検（スタンプラリー）**

【期日】8月6日

【内容】ダム湖を模した釣りコーナーで魚パネル釣り、ダムができるまでの双六、展覧会キーワードクイズに挑戦するスタンプラリー

**No.4 チャレンジ！はくぶつかん**

【期日】第2・3土曜日・日曜日・祝日

【内容】学芸員が作成するワークシートの配布

**No.5 ワードクイズ**

【期日】①4月1日～4月7日 ②7月20日～8月11日 ③3月19日～4月12日

※ 冬季は特別展開催のため中止

【内容】学芸員が作成するワードパズルの配布

**No.6 ゴールデンウィークスペシャルイベント「聴いてみよう♪音の出る昔の道具たち」**

【期日】5月2日～5月4日

【内容】蓄音機や音の出る資料を展示しながら実際に音楽や音を鑑賞するワークショップ

**No.7 ナイトミュージアム**

【期日】8月4日～8月5日

【内容】小中学生を対象とした、閉館後の展示室を学芸員の解説をききながらめぐるツアー

**No.8 民俗講座**

【期日】 8月19日、10月22日

【内容】 収蔵資料の民具を実際に使用することで、昔の暮らしと仕事を学ぶ

**No.9 禁断のフォトスポット撮影会**

【期日】 2月6日～3月1日

【内容】 普段立ち入ることのできない展示スポットで写真撮影を楽しむ

**No.10 夏・冬・春休みスペシャル ワクワク！こどもツアー**

【期日】 ①7月25日～8月10日 ②3月16日～3月31日

※冬休み期間中は特別展開催のため実施しなかった。

【内容】 触察資料等をとおして資料について学芸員と解説員が行うこども向け解説会

**No.11 文化講演会**

【期日】 11月3日

【演題】 「日本の高山植物の現在・過去・行く末」

**No.12 考古学セミナー**

【期日】 ①9月16日（講演会）②9月30日（現地見学会）

【演題】 遠野市鍋倉城跡が国史跡に指定された理由-中世山城から近世城郭へ-

**No.13 岩手県立博物館友の会 話のサロン**

【期日】 5月20日

【演題】 宮沢賢治と東山

**No.14 県博日曜講座**

期 日	テーマ
4月9日	剥製から生まれる鳥類学
4月23日	生命史をひも解く-白亜紀（後編）-
5月14日	地図にみる明治のいわて
5月28日	天台寺周辺の古代遺跡
6月11日	骨からわかる生物の進化
6月25日	五大ダムが岩手県に果たしてきた役割
7月9日	ダム建設が明らかにした遺跡群
7月23日	水をしずめる-水面に浮かぶ歴史と民俗-
8月13日	土偶にまつわる縄文の暮らし
8月27日	黒曜石・頁岩の産地から探る旧石器人の遊動域～岩手県内遺跡を中心に～
9月24日	いわての新鮮統に注目して
10月22日	世界の中の岩手-近代紫波を中心に-
11月12日	南部絵暦をよむ～いわてで生まれた2つの暦～
11月26日	早池峰山の花と森に迫る危機
12月10日	館蔵品でみる江戸時代の売れる本
3月24日	「続 雑学のススメ」（笑いとお頭の体操）

**No.15 県博バックヤードツアー**

【期日】 5月21日

【内容】 普段は立ち入ることができない当館の収蔵庫等の設備を特別に見学

**No.16 自然観察会**

【期日】 ①5月7日 ②7月17日

【会場】 ①滝沢市穴口②滝沢市相の沢キャンプ場

**No.17 地質観察会**

【期日】 ①7月2日 ②10月29日

【内容】 ①大船渡市の石炭紀の生物を見る②一戸町根反川流域の珪化木をみる

**No.18 イワテミュージアムコンサート**

【期日】 10月7日

【内容】 博物館まつり&ミュージアムコンサート  
松園シルバードックス合唱コンサート**No.19 ミュージアムシアター**

【期日】 毎月第1土曜日 ※9月、1月～3月はお休み

【内容】博物館講堂で名作映画を楽しむ

No.20 たいけん教室～みんなのためそう～

【期日】毎週日曜日開催 ※9月はお休み

【内容】主に解説員による小学生対象のワークショップ

No.21 冬のワクワク！ワークショップ

※ 特別展に対応するため中止

No.22 博物館で学ぶ岩手の歴史講座（実習・講習会）

【期日】①9月23日 ②9月30日 ③10月14日 ④10月21日 ⑤10月28日 ⑥11月4日  
⑦11月11日

【内容】歴史を専門的に学んだことのない方や基礎から学びなおしたいと考えている方を対象として、古代から現在までの本県及び本国の歴史展開の概説と、くずし字や和様漢文の初歩的解読法を含む史料の取扱法の解説を主な内容とするリレー講座

No.23 博物館館園実習

【期日】8月17日～24日

【内容】岩手大学、千葉大学等7大学から11名を受け入れた

No.24 文化財等取扱講習会

【期日】①5月25日～26日 ②11月16日～17日

【内容】県内各市町村の文化財担当職員および県内博物館等関係者対象に資料収集保管の基本的な取扱い、資料を活用した展示及び教育普及活動等を指導

No.25 教員のための博物館の日

【期日】8月4日～5日

【内容】展示解説、収蔵庫見学等

No.26 博物館まつり

【期日】10月7日～8日

【内容】郷土芸能、ミュージアムコンサートや昔の遊び、スタンプラリー

No.27 県博出前講座

【内容】学芸員が学校へ出向き館の資料を用いた授業等を実施

期 日	依頼者	演題・イベント名ほか
4月8日	食を育む会子どもひろば	いわてのかせき
5月10日	県立平館高等学校家政科学科	博学連携とは
6月2日	岩手県立大学	滝沢森林公園の鳥類
7月8日	食を育む会子どもひろば	おはなのおはなし
8月30日	県立盛岡青松支援学校高等部	いわてのかせき
9月15日	県立盛岡青松支援学校高等部	岩手県のクモ
10月11日	県立盛岡青松支援学校高等部	松屋敷遺跡と縄文時代の生活
10月18日	県立盛岡青松支援学校	いわての災害史
10月24日	県立平館高等学校	南部紫根染の歴史～糸染めの事例を中心に～
11月15日	県立盛岡青松支援学校高等部	昔の道具から当時の生活を探る

No.28 講演会・講座に係る職員派遣

期 日	依頼者	演題・イベント名ほか
5月3日	土偶研究会	土偶研究会ミニ・シンポジウム「土偶は何故作られたか」
5月13日	岩手県環境生活部自然保護課	グリーンボランティア研修会
6月20日	西松園ひまわりクラブ	いわての昔の道具と手仕事
7月19日	滝沢市教育委員会	カワシンジュガイの生態
7月22日	滝沢市教育委員会	滝沢市の天然記念物カワシンジュガイ
7月23日	有限会社ピース	第32回産直交流会生き物調査隊
7月29日	国立岩手山青少年交流の家	ふるさといわてと出会う曲り家フェスタ昔の暮らし
8月17日	三陸ジオパーク推進協議会	三陸の成り立ち

8月26日	岩手県立図書館	モニュメントが語る震災の記録
9月14日	盛岡市上田公民館	被災資料のレスキューと再生活動の現状
10月1日	三陸ジオパーク推進協議会	三陸の植生
10月17日	岩手県立盛岡峰南支援高等学校	雫石地方の野良着
10月26日	県南広域振興局保健福祉環境部	困った鳥：カワウ
11月1日	建設環境研究所中部支部	ヨシ原と鳥類
11月6日	公益財団法人シルバー人材センター連合会	豊かな岩手の伝統・風俗～岩手の手仕事とお正月～
11月7日	盛岡市立黒石野中学校	地層の重なりと過去の様子
11月10日	岩手県高等学校教育研究会理科部会生物部門	鳥の恋愛論
11月11日	東京大学空間情報科学研究センターほか	オンラインマップを活用した文化遺産防災体制整備の事例報告
11月25日	いわて高等教育コンソーシアム	令和5年度いわて高等教育コンソーシアム後期集中講義「危機管理と復興」第4回
12月2日	陸前高田市立博物館	陸前高田市立博物館古文書講座
12月16日	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館	遮光器土偶の流行学-考古学の編年で土偶の変化を明らかにする-
12月17日	東北日本旧石器文化を語る会	岩手県立博物館蔵「佐々木盛輔コレクション」について
2月29日	三陸ジオパーク推進協議会	五葉山の生態学的特徴
3月2日	北上市教育委員会	蝦夷の儀器 -赤彩土器の謎を追う-
3月3日	芦東山記念館	戦前～戦後の岩手の植物学について
3月9日	二戸市教育委員会	二戸市埋蔵文化財センター発掘調査報告会「火山灰から考える古代の二戸」
3月12日	盛岡広域管内流域協議会	増えすぎたシカによる生態系への影響
9月27日～1月17日(全15回)	盛岡大学	盛岡大学文学部「博物館資料保存論」

## 2 県立美術館

### (1) 岩手県立美術館協議会の開催状況

区分	期 日	場 所	内 容
第1回	令和5年12月14日	県立美術館 会議室	① 令和4年度における意見・要望対応 ② 令和5年度美術館事業実施状況 ③ 令和6年度事業計画案・企画展概要案 ④ 今後の美術品収集方針 ⑤ 美術館運営

### (2) 利用状況

[単位：人、日]

区分	常設展					企画展				観覧者数の計	
	観覧者数				開催日数	観覧者数					開催日数
	小中高生	大学生等	一般	小計		小中学生	高・大生等	一般	小計		
4月	108	33	473	614	23	68	89	2,915	3,072	20	3,686
5月	122	28	811	961	27	165	196	4,840	5,201	19	6,162
6月	54	27	544	625	26	44	164	2,786	2,994	24	3,619
7月	379	27	945	1,351	23	135	135	3,661	3,931	17	5,282

8月	129	52	669	850	28	819	916	12,487	14,222	28	15,072
9月	307	138	1,132	1,577	26	260	380	6,278	6,918	10	8,495
10月	345	16	44	809	22	419	355	5,357	6,131	26	6,940
11月	121	33	48	640	26	692	829	8,307	9,828	26	10,468
12月	34	35	342	411	24	501	681	6,187	7,369	15	7,780
1月	26	33	235	294	20	23	129	1,025	1,177	22	1,471
2月	151	80	608	839	25	33	154	1,142	1,329	18	2,168
3月	78	49	459	586	27	85	259	2,482	2,826	20	3,412
計	1,854	551	7,152	9,557	297	3,244	4,287	57,467	64,998	243	74,555

(3) 展示事業

ア 常設展の開催

[単位：人]

区 分	会 期	観覧者数
第4期展示	令和5年4月1日～令和5年4月23日	521（4月1日以降）
第1期展示	令和5年4月28日～令和5年7月9日	1,962
第2期展示	令和5年7月14日～令和5年10月15日	3,873
第3期展示	令和5年10月21日～令和6年1月21日	1,659
第4期展示	令和6年1月27日～令和6年3月31日	1,464（3月31日まで）

イ 企画展の開催

[単位：人]

事業名	会 期	観覧者数
みちのく いとしい仏たち	令和5年4月8日～令和5年5月21日	8,268
面構 片岡球子展 たちむかう絵画	令和5年6月3日～令和5年7月17日	5,600
フィンランドのライフスタイル	令和5年7月29日～令和5年9月10日	22,182
高畑勲展	令和5年9月30日～令和5年12月17日	23,394
そのとき、岩手では	令和6年1月6日～令和6年2月18日	2,482
アートフェスタいわて2023	令和6年3月2日～令和6年3月24日	2,823

(4) 教育普及事業

ア 展示関連事業

(ア) 企画展教育プログラム

- ・ ギャラリートーク………学芸員による展示作品の解説

【期日】企画展の開催ごとに開催 【参加者数】879人

- ・ 企画展関連講座等

[単位：人]

内 容	講 師 等	期 日	参加者数
みちのく いとしい仏たち 講演会1「みちのくの仏たち 知られざるもう一つの魅力」	須藤 弘敏氏	令和5年4月22日	170
みちのく いとしい仏たち ワークショップ「たのしく描こう！仏さま」		令和5年4月30日	13
みちのく いとしい仏たち 講演会2「日本美術における『かわいい』について」	矢島 新氏	令和5年5月4日	85
面構 片岡球子展 たちむかう絵画 開催記念講演会「片岡球子ー“面構”創造の現場」	土岐美由紀氏	令和5年6月10日	48
面構 片岡球子展 たちむかう絵画 ワークショップ「『色と文様』を味わう手書き友	菅原 高幸氏	令和5年7月1日	18

禅体験			
フィンランドのライフスタイル プレイベント ワークショップ「ヒンメリをつくろう」	山本 睦子氏	令和5年7月28日	16
フィンランドのライフスタイル 開幕記念対談「フィンランドの記憶」	石本 藤雄氏 平井 千里馬氏	令和5年7月29日	205
フィンランドのライフスタイル 講演会Ⅰ「アルテック スツール60」	林 アンニ氏	令和5年8月5日	60
フィンランドのライフスタイル 講演会Ⅱ「岩手とフィンランド」	工藤 哲人氏	令和5年8月6日	61
高畑勲展 講演会「高畑監督の挑戦－アニメーションを共に 創りながら思ったこと」	才田 俊次氏	令和5年10月21日	99
高畑勲展 関連映画上映「おもひでぼろぼろ」		令和5年10月29日	27
高畑勲展 講演会「高畑勲の革新的演出術－『火垂るの墓』 を中心に－」	叶 精二氏	令和5年11月5日	58
高畑勲展 関連映画上映「ホーホケキョ となりの山田く ん」		令和5年11月19日	48
高畑勲展 関連映画上映「かぐや姫の物語」		令和5年11月26日	43
そのとき、岩手では 開催記念対談「岩手の美術とともに歩んで」	佐々木 繁美氏 平澤 広氏	令和6年1月27日	87

(イ) 常設展教育プログラム

- ・ コレクショントーク……学芸員による常設展示作品の解説  
【期日】毎月第2・第4土曜日に年間23回開催 【参加者数】189人
- ・ コレクション展関連講座 3回実施 【参加者数】88人
- ・ 子ども向け鑑賞ツールの運用

イ 美術普及事業

(ア) スタジオプログラム

- ・ オープンスタジオ  
【期日】令和5年7月22日～23日 【参加者数】158人  
【期日】令和5年12月23日～24日 【参加者数】107人
- ・ アートデオヤコ……親子でいろいろな素材に触れて楽しむワークショップ  
【期日】毎月実施（5月を除く。） 【対象】3～6歳児と保護者 各10組  
【参加者数】181人
- ・ アートデオヤコ こどもの日スペシャル  
……親子でいろいろな素材に触れて楽しむワークショップ  
【期日】令和5年5月5日 【対象】小学生以下のお子様と保護者  
【参加者数】173人

(イ) 美術プログラム

[単位：人]

内 容	期 日	参加者数
館長講座	令和5年5月20日、8月26日、 11月25日、令和6年2月24日	118
学芸員講座	令和5年10月22日、令和6年2月3日	68
実技体験講座	令和5年11月11日、11月23日、12月10日、 12月17日、令和6年2月18日、2月15日	100

### (ウ) 映像プログラム

アートシネマ上映会…美術に関連する作品等幅広いラインナップで上映

期 日	内 容	鑑賞者数
令和5年4月16日	クリスト・ウォーキング・オン・ウォーター	33
5月14日	子熊物語	35
6月18日	トゥーブラザーズ	44
7月30日	劇場版ムーミン谷の彗星	84
8月20日	サウナのあるところ	76
9月10日	東京物語	50
10月15日	アートのお値段	27
11月12日	ファウスト（無声映画/弁士・伴奏付き）	80
12月10日	夜のとばりの物語	55
令和6年1月21日	短編傑作選「男の子の名前はみんなパトリックっていうの」「水の話」「シャルロットとジュール」	62
2月18日	なはればなれに	68
3月17日	雨月物語	85

### (エ) アウトリーチ事業

【期日】 令和5年5月10日（岩手県立陸中海岸青少年の家）	【参加者数】 16人
8月2日（山田町中央公民館）	【参加者数】 13人
8月31日（住田町立世田米小学校）	【参加者数】 19人
9月26日（釜石市立大平中学校）	【参加者数】 49人
10月31日（釜石市立甲子中学校）	【参加者数】 128人
11月13日（宮古市役所）	【参加者数】 10人
11月14日（陸前高田市立矢作小学校）	【参加者数】 10人
11月22日（住田町立有住小学校）	【参加者数】 30人

### ウ 来館者対応事業

(ア) 美術館探検「てくてくツアー」	【期日】 年6回	【参加者数】 55人
(イ) 一般団体等対応		
・ 一般団体対応	【期日】 随時	【利用者数】 305人
・ ファミリータイム	【期日】 毎月第2木曜日・第4土曜日	【参加者数】 103人
(ウ) 学校団体対応（生徒インタビュー含む）	【期日】 随時	【利用者数】 1,338人
(エ) 美術相談	【期日】 随時	
(オ) ライブラリー企画	【期日】 年6回	

### (5) 広報事業

- ア 美術館ニュース「アプリーレ」……年2回
- イ 企画展チラシ、ポスター……企画展の開催の都度
- ウ 常設展展示目録、ポスター……常設展の展示替えの都度
- エ 美術館スケジュール……年4回

### (6) 美術品修復保存事業

美術品をより良い状態で保存し展示に活用するため、所蔵作品の修復を実施。

## 3 県立青少年の家

### (1) 県南青少年の家

#### ア 主催事業

- (ア) 自然環境や地域の特性を生かした研修内容の充実を図った。
- (イ) ボランティアの育成と活用による研修活動の充実を図った。
- (ウ) 関連施設・団体との連携による機能の活用を図った。

#### イ 研修活動

- (ア) 団体等の研修目的や活動計画に対応した弾力的な運営に取り組んだ。
- (イ) 研修プログラム作成のための事前協議の奨励に取り組んだ。
- (ウ) 職員研修の計画的な推進と利用団体に対する助言・指導の充実を図った。

#### ウ 利用の促進

- (ア) 関係教育機関、団体との連携による年間にわたる効果的な利用促進に取り組んだ。
- (イ) 施設開放と利用形態の多様化に対応した。
- (ウ) 利用者層の拡大と親しみやすい施設運営に取り組んだ。

#### エ 環境の整備

- (ア) 施設・設備の計画的な補修整備を行った。
- (イ) 研修環境の整備・改善及び情報提供を図った。
- (ウ) 環境に優しい施設及び環境美化に取り組んだ。

### (2) 陸中海岸青少年の家

#### ア 主催事業

- (ア) 安全確保を念頭に活動内容の充実に努め、一部の事業において海の活動を取り入れたプログラムを展開することができた。
- (イ) ボランティアの育成とその活用に取り組んだ。
- (ウ) 近隣市町村を中心に関係者及び関係機関との情報交換を密にし、連携を図ることができた。

#### イ 研修活動

- (ア) 利用団体との事前打ち合わせに丁寧に対応し、利用者（団体）のねらいが達成されるよう支援に取り組んだ。
- (イ) 施設利用について、利用者のニーズに応じ、柔軟な対応をするよう取り組んだ。
- (ウ) 職員研修の計画的な推進と利用団体に対する助言・指導の充実を図った。

#### ウ 利用の促進

- (ア) 関係教育機関、団体との連携による年間にわたる効果的な利用促進に取り組んだ。
- (イ) 近隣市町村への広報や季刊誌等により、利用促進に取り組んだ。
- (ウ) 利用者の立場に立ち、利用者の満足度を高める接遇を心掛け、対応することができた。

#### エ 環境の整備

- (ア) 施設・設備の計画的な補修整備を行った。
- (イ) 研修環境の整備・改善及び情報提供を図った。
- (ウ) 環境に優しい施設及び環境美化に取り組んだ。

### (3) 県北青少年の家

#### ア 主催事業

- (ア) 自然環境や地域、施設の特徴を生かし、研修内容の充実を図った。
- (イ) ボランティアの育成とその活用に取り組んだ。
- (ウ) 近隣の社会教育施設や地域団体等との連携強化を図った。

#### イ 研修活動

- (ア) 団体の研修目的や活動計画に対応した弾力的な運営に取り組んだ。
- (イ) 利用者のニーズに応じて、新しい研修活動プログラム（レク、創作活動等）を導入した。
- (ウ) 職員研修の計画的な推進と利用団体に対する助言・指導の充実を図った。

#### ウ 利用の促進

- (ア) 関係教育機関、団体との連携による年間にわたる効果的な利用促進に取り組んだ。
- (イ) 施設開放事業を行い、広く地域住民に親しまれるよう取り組んだ。
- (ウ) 利用者の意向に沿った管理運営に努め、満足度の向上を図った。
- (エ) 積極的な臨時開所や出前講座の実施、月1～2回の地元FMラジオ番組への電話出演等、ホームページ・ポスター・チラシ等で広報活動を展開した。

#### エ 環境の整備

- (ア) 施設・設備の計画的な補修整備を行った。
- (イ) 研修環境の整備・改善及び情報提供を図った。

(ウ) 環境に優しい施設及び環境美化に取り組んだ。

#### 4 県立野外活動センター

##### (1) 主催事業

海洋性野外活動のほか、各種スポーツ事業やファミリー対象事業、復興防災事業、ボランティア養成事業等を実施した。

##### (2) 研修活動

地域の特性を踏まえた、野外活動、スポーツ活動、創作活動等の研修プログラムを作成し、提供した。

##### (3) 利用の促進

利用者アンケートを分析して改善方法を検討し、利用促進に取り組んだ。

##### (4) 環境の整備

ア 利用者の安全確保に向けたマニュアルを活用し、施設管理の手順や方法等を職員間で共有した。

イ 施設敷地の環境整備に取り組んだ。

【県立県南青少年の家 令和5年度主催事業及び自主事業】

- (1) 野外活動指導者セミナー ①②
  - 【期日|参加者数】 ① 4月26日 35人
  - ② 4月27日 20人
- (2) アドバイザー・スタッフ養成講座
  - 【期日|参加者数】 5月27日～28日 19人
- (3) 自然ワンダークラブ ①～④
  - 【期日|参加者数】 ① 5月27日～28日 30人
  - ② 8月19日～20日 28人
  - ③ 9月30日～10月1日 27人
  - ④ 1月13日～14日 25人
- (4) 水と緑のフレンドシップ
  - 【期日|参加者数】 7月30日～8月3日 20人
- (5) かるがも親子体験教室
  - 【期日|参加者数】 10月28日～29日 31人
- (6) 通学合宿
  - 【期日|参加者数】 11月12日～15日 34人
- (7) 県南は～とふる♡Day ①②
  - 【期日|参加者数】 ① 通年 13人
  - ② 12月2日 12人
- (8) [自主事業]大人ワンダークラブ①～③
  - 【期日|参加者数】 ① 5月13日 20人
  - ② 10月14日 18人
  - ③ 2月18日 26人
- (9) [自主事業]ファミリートレッキング
  - 【期日|参加者数】 6月10日 34人
- (10) [自主事業]かるがも親子体験教室
  - 【期日|参加者数】 7月15日 27人
- (11) [自主事業]ふれあいフェスティバル
  - 【期日|参加者数】 8月27日 482人
- (12) [自主事業]サッカーフェスティバル ①②
  - 【期日|参加者数】 ① 9月16日～17日 520人
  - ② 9月23日～24日 557人
- (13) [自主事業]親子de手作りクリスマス①～④
  - 【期日|参加者数】 ① 11月25日午前 57人
  - ② 11月25日午後 51人
  - ③ 11月26日午前 63人
  - ④ 11月26日午後 56人
- (14) [自主事業]かるがも親子のクリスマス
  - 【期日|参加者数】 12月9日～10日 56人
- (15) [自主事業]冬のおもしろ体験ランド
  - 【期日|参加者数】 1月27日～28日 14人

【県立陸中海岸青少年の家 令和5年度主催事業及び自主事業】

- (1) 自然体験活動セミナー  
【期日|参加者数】 4月28日 28人
- (2) 海釣り道場①②  
【期日|参加者数】 ①5月3日～4日 38人  
②7月15日～16日 中止
- (3) マリンランド陸中杯グラウンド・ゴルフ交流会 ①～③  
【期日|参加者数】 ①5月17日 76人  
②9月1日 58人  
③9月27日 55人
- (4) アドバイザースタッフセミナー  
【期日|参加者数】 7月8日 3人
- (5) マリンランド陸中自然体験塾 ①②  
【期日|参加者数】 ①海の子野外教室 7月26日～29日 39人  
②雪ん子野外教室 1月6日～8日 15人
- (6) 季節の味わい～うどん作り～  
【期日|参加者数】 2月12日 12人
- (7) ハートフルキャラバン  
【期日|参加者数】 通年 105人
- (8) やまびこキャラバン  
【期日|参加者数】 通年 3,576人
- (9) [自主事業]ワンダフルネイチャー ①～③  
【期日|参加者数】 ①4月22日 40人  
②10月28日 28人  
③11月18日 47人
- (10) [自主事業]エンジョイ夜釣り①②  
【期日|参加者数】 ①8月26日 23人  
②10月14日 66人
- (11) [自主事業]マリンランド陸中フェスタ「感謝まつり」  
【期日|参加者数】 9月23日 378人
- (12) [自主事業]創作ひろば  
【期日|参加者数】 12月9日 108人
- (13) [自主事業]陸中海岸剣道スポーツ少年団交歓会  
【期日|参加者数】 1月27日 351人
- (14) [自主事業]第15回マリンランド陸中ミニバスケットボール交流会  
【期日|参加者数】 2月24日～25日 808人

【県立県北青少年の家 令和5年度主催事業及び自主事業】

- (1) 県北ステラクラブ  
【期日|参加者数】 通年（4月～2月） 33人
- (2) 野外活動セミナー  
【期日|参加者数】 5月9日 30人
- (3) わんぱく広場①②  
【期日|参加者数】 ①6月10日 47人  
②6月11日 46人
- (4) にこにこキャンプ ①②  
【期日|参加者数】 ①7月15日～16日 40人  
②7月22日～23日 42人
- (5) サマーチャレンジキャンプ  
【期日|参加者数】 8月5日～9日 33人
- (6) 親子でアウトドア・クッキング！  
【期日|参加者数】 10月1日 55人
- (7) スケート場感謝デー  
【期日|参加者数】 11月3日 375人
- (8) だれでもスケート教室①～③  
【期日|参加者数】 ①11月12日 38人  
②11月26日 61人  
③12月10日 32人
- (9) ステラパル冬遊塾  
【期日|参加者数】 1月10日～12日 30人
- (10) ウィンタースクール  
【期日|参加者数】 2月3日～4日 32人
- (11) スケートFanFun感謝デー  
【期日|参加者数】 2月11日 762人
- (12) [自主事業]いきいきグランド・ゴルフ大会①②  
【期日|参加者数】 ①5月16日 51人  
②9月19日 53人
- (13) [自主事業]レッツ！トレッキング①②  
【期日|参加者数】 ①6月6日 12人  
②9月28日 中止
- (14) [自主事業]ステラパル夏まつり  
【期日|参加者数】 8月27日 589人
- (15) [自主事業]プラネタリウム鑑賞デー ①②  
【期日|参加者数】 ①8月27日 84人  
②2月11日 180人
- (16) [自主事業]親子でチャレンジ  
【期日|参加者数】 10月7日～8日 27人
- (17) [自主事業]開所40周年記念ステラパル冬まつり  
【期日|参加者数】 2月13日 2,064人
- (18) [自主事業]県北お泊り会①～④  
【期日|参加者数】 ①5月5日～6日 24人  
②7月29日～30日 15人  
③12月23日～24日 22人  
④3月2日～3日 82人
- (19) [自主事業]あつまれアイスキッズ  
【期日|参加者数】 11月～3月 2,284人

【県立野外活動センター 令和5年度実施事業】

- (1) 野活キッズ①②
  - 【期日|参加者数】 ① 7月22日～23日 29人
  - ② 1月27日～28日 20人
- (2) ドラマチック海遊塾
  - 【期日|参加者数】 8月3日～6日 30人
- (3) ファミリーキャンプ in 広田
  - 【期日|参加者数】 8月19日～20日 31人
- (4) 親子海釣り教室①②
  - 【期日|参加者数】 ①10月7日 25人
  - ②10月14日～15日 19人
- (5) 野活クラフト教室①～③
  - 【期日|参加者数】 ①12月2日 30人
  - ②12月16日 27人
  - ③2月17日 24人
- (6) SUP体験会①②
  - 【期日|参加者数】 ①6月10日 12人
  - ②7月17日 19人
- (7) スポーツ教室 in ハマラインパーク①②
  - 【期日|参加者数】 ①10月22日 33人
  - ②10月28日 86人
- (8) ウィンタートレッキング
  - 【期日|参加者数】 2月3日 14人
- (9) ボランティアスタッフ養成講座
  - 【期日|参加者数】 7月22日～23日 18人
- (10) 合同事前研修会①～③
  - 【期日|参加者数】 ①5月10日 14人
  - ②5月11日 22人
  - ③7月11日 22人
- (11) 復興・防災学習現地研修会①②
  - 【期日|参加者数】 ①7月27日 12人
  - ②7月28日 11人
- (12) 親子防災教室
  - 【期日|参加者数】 9月9日～10日 6人

[参考] 県内社会教育施設の設置・利用状況（県立を除く）

(※各項目の利用実績は、令和4年度実績)

1 図書館（令和5年4月1日現在）※令和5年度図書館・公民館図書室等実態調査より

	合 計	図書館	公民館等
施設数	53	46	7
職員数	509	478	31
(うち専任)	93	93	0
蔵書総冊数	5,290,600	5,052,264	238,336
年間受入冊数	137,837	129,713	8,124
貸出冊数	4,665,641	4,443,955	221,686

2 公民館（令和5年10月1日現在）※令和5年度社会教育基本調査より

	合 計	本館 計	本館		分館
			中央館	地区館	
施設数	143	121	18	103	22
職員数	490	473	117	356	17
(うち本務)	116	112	39	73	4
(〃 兼務)	84	80	27	53	4
(〃 非常勤)	290	281	51	230	9
利用団体数	26,950	25,626	4,971	20,655	1,324
利用者数	1,128,240	1,091,061	288,905	802,156	37,179
(うち団体)	1,068,430	1,032,304	279,078	753,226	36,126
(〃 個人)	59,810	58,757	9,827	48,930	1,053

3 博物館等（令和5年10月1日現在）※令和5年度社会教育基本調査より

	合 計	教育委員会所管	他所所管
施設数	106	63	43
職員数	581	373	208
(うち本務)	240	126	114
(〃 兼務)	91	70	21
(〃 非常勤)	250	177	73
※学芸員数（内数）	(106)	(84)	(22)
来館者数	1,232,403	576,065	656,338

4 青少年教育施設（令和5年10月1日現在）※令和5年度社会教育基本調査より

	合 計	教育委員会所管	他所所管
施設数	6	3	3
職員数	26	12	14
(うち本務)	9	7	2
(〃 兼務)	5	1	4
(〃 非常勤)	12	4	8
利用団体数	295	173	122
利用者数	36,620	15,257	21,363
(うち団体)	25,422	7,356	18,066
(〃 個人)	11,198	7,901	3,297

5 文化施設（令和5年10月1日現在）※令和5年度社会教育基本調査より

	合 計	教育委員会所管	その他所管
施設数	29	7	22
職員数	195	35	160
（うち本務）	130	20	110
（〃 兼務）	16	11	5
（〃 非常勤）	49	4	45
利用団体数	8,211	1,237	6,974
利用者数	1,232,942	148,469	1,084,473
（うち団体）	1,055,369	144,958	910,411
（〃 個人）	177,573	3,511	174,062

6 その他の社会教育施設（令和5年10月1日現在）※令和5年度社会教育基本調査より

	合 計	教育委員会所管	その他所管
施設数	197	35	162
職員数	634	86	548
（うち本務）	254	20	234
（〃 兼務）	65	29	36
（〃 非常勤）	315	37	278
利用団体数	67,145	5,590	61,555
利用者数	1,581,365	189,982	1,391,383
（うち団体）	1,509,859	180,881	1,328,978
（〃 個人）	71,506	9,101	61,725

## 第4節 次世代につなげる郷土芸能や文化財の継承

### 第1 部活動や地域と連携した取組などを通じた郷土芸能の保存と継承

郷土芸能の保存・継承を促進するため、児童生徒の部活動や地域と連携した取組などを通じた活動を推進した。

児童生徒の文化活動を支援することにより、本県芸術文化の次代の担い手が育つ体制づくりを推進した。

#### 1 第46回岩手県高等学校総合文化祭 [単位：人]

部 門	期 日	会 場	参加校数等	入場者数
郷土芸能	令和5年10月14日	北上市文化交流センター	16校 310人	423

#### 2 第47回全国高等学校総合文化祭 [単位：人]

部 門	期 日	会 場	派遣学校名（派遣生徒数）
郷土芸能	令和5年7月30日 ～8月1日	奄美文化センター	北上翔南高等学校（33） 伊保内高等学校（24）

#### 3 令和5年度セミナーサポート事業

部 門	期 日	会 場	参加校数等
郷土芸能	令和5年10月14日	北上市文化交流センター	16校 310人

#### 4 岩手県中学校文化連盟への補助

##### 【補助事業】

##### (1) 第22回岩手県中学校総合文化祭

[開催日] 令和5年11月23日（木）～27日（月）

[会 場] 岩手県民会館

舞台発表部門 出演学校数等:13校、2個人（15演目）＜1日間＞

展示発表部門 出展作品総数:2,122点＜5日間＞

##### (2) 第23回全国中学校総合文化祭沖縄大会への派遣

[開催日] 令和5年12月9日（土）～10日（日）

[会 場] アイム・ユニバースてだこホール

舞台発表部門出演:1校

展示発表部門出品:10作品

### 第2 世界遺産登録の推進に向けた柳之御所遺跡の整備活用

地域の優れた歴史、文化を十分認識することにより、県民が地域の誇りと保存管理の重要性を再確認し次代に継承していくことの一つとして、「平泉の文化遺産」の世界遺産登録に向けた取組を着実に推進した結果、中尊寺ほか4資産が「平泉—仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群—」として平成23年に登録された。

現在、柳之御所遺跡ほかの関連資産を追加登録するための調査を平成25年から継続実施している。

柳之御所遺跡については、奥州藤原氏の政庁として仏国土（浄土）建設の拠点となった場所であり、その顕著な普遍的価値を来訪者にわかりやすく伝えることができるよう、史跡公園としての整備活用を推進してきた。令和3年度開館の平泉世界遺産ガイダンスセンターと史跡公園との一体的な活用を図るほか、整備基本設計の作成を行った。

### 1 柳之御所遺跡整備調査事業

奥州藤原氏の政庁「平泉館」と推定されている柳之御所遺跡の史跡整備及び内容確認のための発掘調査を行った。併せて調査整備推進会議を開催した。

【総事業費】 59,991千円

### 2 平泉文化研究機関整備推進事業

令和2年度に更新した研究計画に基づき、岩手大学や国機関の研究者等と共同研究を行った。また、平泉学フォーラムなどの開催により、共同研究の成果を広く発信した。

【総事業費】 4,000千円

## 第3 文化財の保存と継承

地域の歴史や風土の中で培われてきた伝統芸能や文化財等を内外に広く情報発信したほか、次代を担う子どもたちが郷土の歴史や文化を十分に理解し、進んで継承していけるよう様々な取り組みを支援した。

また、令和3年3月に策定した「岩手県文化財保存活用大綱」に基づき、地域における文化財の保存・活用アクションプランである「文化財保存活用地域計画」の作成に向けた市町村の取り組みを支援した。

### 1 文化財の保存と管理

#### (1) 岩手県文化財保護審議会の開催状況

	期 日	会 場	審議事項
第1回	令和5年9月8日	岩手県水産会館 大会議室	岩手県指定文化財の指定等について(7件)
第2回	令和6年2月2日	盛岡地区合同庁舎 大会議室	岩手県指定文化財の指定等について(2件)

#### (2) 文化財の指定等及び保持団体の認定

令和5年11月21日 岩手県教育委員会告示第3号

指定番号	名 称	員数	所有者
有第272号	岩手県管轄地誌 甲本	11巻131冊	盛岡市
有第273号	岩手県管轄地誌 乙本	11巻131冊	岩手県
有第274号	盛岡藩覚書	105冊	盛岡市

令和5年11月21日 岩手県教育委員会告示第4号

指定番号	名 称	保持団体
無民第51号	盛町五年祭	盛町五年祭保存会
無民第52号	日高火防祭	日高神社火防祭保存会

令和5年11月21日 岩手県教育委員会告示第6号

指定番号	名 称	保持団体	備考
無第7号	火防せ祭の「屋台囃」	日高囃保存会	範囲を拡大しての指定に伴う解除

令和5年12月22日 岩手県教育委員会告示第7号

指定番号	名 称	員数	所有者
有第203号	盛岡藩雑書	191冊 ※1冊を追加指定	盛岡市

令和6年4月9日 岩手県教育委員会告示第1号

指定番号	名称	保持団体
無民第53号	盛岡八幡宮祭りの山車行事	盛岡山車推進会
無民第54号	山田の神幸行事	山田八幡宮の神幸行事保存会 大杉神社の神幸行事保存会

(3) 文化財の保存修理及び保護対策事業

ア 文化財保存修理事業

[単位：千円]

事業名	補助事業者	総事業費	うち県費補助額
国指定文化財・指定史跡等保存整備（一般）事業	平泉町ほか7件	93,918	21,342
県指定文化財・修理・防災事業	陸前高田市ほか8件	61,794	30,645

イ カモシカ保護対策事業

[単位：千円]

事業名	補助事業者	総事業費	うち県費補助額
特別天然記念物カモシカ食害対策事業	大槌町	853	426

(4) 文化財の調査

ア 指定候補物件調査

種別	名称	実施期日
有形文化財	岩手県管轄地誌・盛岡藩覚書（盛岡市）	令和5年6月11日
無形民俗文化財	日高火防祭（奥州市）	令和5年4月29日
	やまだ祭り	令和5年12月10日

イ 文化財パトロール事業	【総事業費】	1,562千円
ウ カモシカ特別調査事業	【総事業費】	6,471千円
エ カモシカ通常調査事業	【総事業費】	516千円

(5) 美術銃砲刀剣類の登録

【令和5年度登録件数】97件 【総登録件数】34,440件

2 埋蔵文化財の保護

(1) 県内遺跡発掘調査事業

ア 発掘調査

事業名（遺跡名）	調査地区	調査面積
一般国道4号水沢東バイパス事業（中林下遺跡）	奥州市	1,820㎡
経営体育成基盤事業 砂子地区（天ヶ沢遺跡）	花巻市	2,200㎡
農業農村整備事業 太田地区（折居遺跡）	花巻市	2,036㎡
経営体育成基盤事業 若柳中部地区（作屋敷遺跡）	奥州市	1,465㎡
花南産業団地整備事業（山ノ神Ⅱ遺跡）	花巻市	61,875㎡
北上北部産業業務団地整備事業（岡田遺跡）	北上市	40,100㎡
北上工業団地整備（広表遺跡）	北上市	15,226㎡
橋野地区消防団屯所建設（太田林遺跡）	釜石市	488㎡
林業関連施設整備（中塚Ⅲ遺跡）※表土剥ぎのみ	住田町	0㎡
野田小学校整備（中平遺跡）	野田村	2,000㎡
合計		127,210㎡

イ 試掘調査

事業名	調査地区
一般国道4号 水沢東バイパス	奥州市
一般国道4号北上花巻道路	北上市
一般国道106号宮古盛岡横断道路	宮古市

事業名	調査地区
地域連携道路整備事業	北上市
一般県道道路環境改善事業	紫波町
広域河川改修事業	山田町
災害関連緊急砂防事業	葛巻町
畑地帯総合整備事業	二戸市
経営体育成基盤整備事業 真城西地区	奥州市
経営体育成基盤整備事業 山内地区	二戸市
経営体育成基盤整備事業 真城西地区	奥州市
経営体育成基盤整備事業 小山中央南地区	奥州市
経営体育成基盤整備事業 駒木地区	一戸町
経営体育成基盤整備事業 五位塚地区	奥州市
農業農村整備事業 高野・似田貝地区	遠野市
北部産業業務団地造成事業	北上市
個人住宅新築工事	田野畑村

など合計41件67遺跡（可能性あり含む）

#### ウ 分布調査

事業名	調査地区
道路改築・改良関連	盛岡市、宮古市、西和賀町、洋野町、雫石町 ほか
河川改修事業関係	盛岡市、奥州市、北上市、八幡平市、宮古市
圃場・農地整備関係	花巻市、遠野市、盛岡市、一戸町、田野畑村
森林保全関係	奥州市
急傾斜地・砂防事業等	一戸町、一関市、平泉町、陸前高田市

など合計33件101遺跡（可能性あり含む）

#### (2) 埋蔵文化財緊急発掘調査事業

遺跡等の埋蔵文化財の実態把握及び開発事業との調整のために、市町村が実施する調査に対して、その経費の一部を助成した。

・発掘調査等 11市4町1村（計16自治体）で実施

#### (3) 岩手県立埋蔵文化財センターの充実【埋蔵文化財センター受託事業】

発掘調査により得られた諸資料の整理及びデータ化を進めるとともに、広報誌の発行や研修会の開催によって文化財の普及活用に取り組み、管理運営や教育普及活動事業の充実を図った。

#### ア 発掘調査【計10遺跡】

委託元	所在地	遺跡名
国土交通省東北地方整備局 岩手河川国道事務所	奥州市	中林下遺跡
岩手県 県南広域振興局農政部	花巻市	天ヶ沢遺跡、折居遺跡
	奥州市	作屋敷遺跡
北上市	北上市	岡田遺跡、広表遺跡
釜石市	釜石市	太田林遺跡
野田村	野田村	中平遺跡
住田町	住田町	中塚Ⅲ遺跡

#### イ 報告書の発刊【計3遺跡】 3冊、各300部発刊

委託元	所在地	遺跡名
国土交通省東北地方整備局 三陸国道事務所	普代村	力持遺跡
	洋野町	サンニヤⅢ遺跡
県南広域振興局農政部	奥州市	中林下遺跡

#### ウ 調査報告書（令和5年度概要）

令和5年度発掘調査略報 300部

## エ 普及事業

### (ア) 第44回埋蔵文化財展

【期間】 令和5年11月4日～5日

【場所】 普代村社会体育館

【内容】 令和5年度の調査成果の速報展示を主体として、平成24年度以降に（公財）埋蔵文化財センター及び県教育委員会が実施した震災復興関連発掘調査の成果を出土した遺物や写真パネル等で展示し、埋蔵文化財の魅力に触れる機会を創出した。

【参加者】 259人

### (イ) 令和5年度埋蔵文化財公開講座

【期日】 令和6年1月28日

【場所】 アイーナ 小田島組☆ほ～る

【内容】 講演「新しい手法から縄文時代の暮らしを探る」  
弘前大学人文社会科学部教授 上條 信彦 氏

【参加者】 108人

### (ウ) 第44回埋蔵文化財発掘調査技術講習会

【期日】 令和5年12月8日

【場所】 岩手県立博物館

【内容】 『放射性炭素年代測定の基礎と応用－暦年較正・分析事例と注意点・測定の基本』

日本考古学協会会員 山田しょう氏

【参加者】 41人

### (エ) 所報「わらびて」の発行

【内容】 年2回発行（148号～149号）

県教育委員会及び（公財）埋蔵文化財センター、市町村教育委員会の埋蔵文化財関係事業等についての情報掲載を行った。

## 3 文化財の積極的な活用

### 遺跡周知事業

文化財保護法第95条第1項の規定に基づき、遺跡に関する諸資料の整備とその周知徹底を継続して行うとともに、市町村担当職員の研修で指導・助言を行った。

- ・ 遺跡台帳の改訂（電算化）
- ・ 遺跡基本図の改訂（電算化）
- ・ 台帳、基本図の複製配布及びWEBでの公開
- ・ 現地確認調査等の事前協議
- ・ 市町村文化財担当職員等の研修会における指導・助言
- ・ 文化財保護法関連諸書類処理